ver.
1.4

帯広市 まちなか アクションリスト

（令和７年度）

みんなでつくる、みんなをつなぐ

CONTENTS

01 これからの中心市街地
（第４期帯広市中心市街地活性化基本計画 概要）

02 アクションリストについて

03 令和７年度
アクションリスト 掲載事業
● 公募事業 P5~P34
● 帯広市関連事業 P35~P43

01 これからの中心市街地

第4期帯広市中心市街地活性化基本計画を策定しました

帯広市では、中心市街地の更なる魅力向上とにぎわいの創出を図るため、「第４期帯広市中心市街地活性化基本計画」を令和７年３月に策定しました。

令和７年４月から令和12年３月までの５年間を計画期間として、目指す中心市街地の姿や目標を地域で共有し、事業者や団体、関係機関等の多様な主体と連携しながら、活性化に向けた取り組みを推進していきます。

目指す姿

みんなでつくる、
笑顔ひろがる 心地よいまちなか

目指す姿は、住む人、働く人、訪れる人などが笑顔あふれる心地よいまちなか を目指して、市民、事業者、行政等が連携・協力してまちづくりに取り組んでいくという意味を込めています。 「みんなでつくる」としているように、まちなかに関わる一人ひとりが、まち のにぎわい創出や魅力を高める取り組みに主体的に関わり、人と人が、人とまち がつながっていくことで、誰もが笑顔になれる、心地よいと感じることのできる 「まちなか」になるものと考えます。

基本的な方針

目指す姿を実現していく取り組みの方向性を示すものとして、３つの基本的な方針を定めています。

1：人がつながり、誰もが行きたくなるまちづくり

2：人がつながり、住み続けたくなるまちづくり

3：未来へつなぐまちづくり

基本的な方針１：人がつながり、誰もが行きたくなるまちづくり

≪取り組みの方向性≫

01：魅力的な目的地の形成

既存の個店や商店街等の魅力を高めていくような取り組みや、ハード・ソフト 両面で新たな目的地をつくり出す取り組みを促進し、ＪＲ帯広駅周辺や商店街 等での回遊の創出を図るとともに、中心市街地での人々の交流が広がる機会づくりを促進していきます。

02：恒常的なにぎわいの創出

中心市街地に行くことを楽しみに感じることのできるイベントの実施を促進します。また、域内外の誰もがアクセスしやすい便利で快適な交通環境づくりに 取り組んでいきます。

基本的な方針２：人がつながり、住み続けたくなるまちづくり

≪取り組みの方向性≫

01：居住施設の充実

居住人口の確保は、まちが成立する基本的条件であり、活力の源です。まちなか居住者を維持・拡大するための対策は、中心市街地活性化においても重要であることから、既存ストックの活用や良質な居住施設の充実を図ります。

02：居住環境の充実

小売・飲食等の商業機能や公共・公益施設等の集積だけではなく、生活を充実させる人の交流や文化的イベント等の促進により、若い世代や子育て世代、高齢者等の多世代が快適に暮らせる環境づくりを進めます。

基本的な方針３：未来へつなぐまちづくり

≪取り組みの方向性≫

01：主体同士のつながりの強化

中心市街地に関わる多様な主体同士が、自らの知見やノウハウ等の情報を発信・共有し、新たな取り組みにつながる仕掛けを促進します。

02：多様な主体のまちづくりへの参画

中心市街地での取り組みに、学生等の若者や、個性ある視点を持った人材が関わっていくことが重要であると考えます。このような多様な主体のまちづくりへの参画機会の創出やネットワークの形成を図ります。

02 アクションリストについて

アクションリストとは

アクションリストは「第４期帯広市中心市街地活性化基本計画」に関連し作成するものです。中心市街地における新しい取り組み、事業主体などを見えるかたちでリスト化し、地域で共有することを目的とします。

◆掲載事業

行政や民間事業者、市民ボランティアなど多様な主体が取り組む、にぎわいや魅力づくりなど、中心市街地の活性化につながる事業を「アクション」と呼称し、リストに掲載します。

◆対象期間

令和７年度から令和11年度まで、年度毎に掲載事業を選定します。

◆ 掲載事業の募集・選定

翌年度に予定される事業を市が公募し、中心市街地活性化協議会での協議を経て、市が掲載事業を決定します。リストは、毎年５月頃までに公表します。
※令和７年度は第４期計画とあわせて、令和７年３月に公表しています。

令和7年度掲載事業　随時募集中！

アクションリストは年度中も定期的に掲載事業を更新する予定（概ね1か月ごと）のため、事業の募集を随時行っています。
事業の応募は電子申請システム（harp）から行えます。この方法により難い場合は、所定の応募用紙にご記入の上、持参、郵送、メールのいずれかで帯広市商業労働課へご提出ください。
※令和8年度掲載事業の募集は別途ご案内します。

【応募・お問合せ先】
帯広市 経済部 商業労働室 商業労働課
〒080-8670 帯広市西5条南７丁目１番地（市役所７階）
TEL0155-65-4164　FAX 0155-23-0172
Email commerce@city.obihiro.hokkaido.jp

〈帯広市ホームページ〉
最新のアクションリストや
補助金の情報も！

03

R7年度
アクションリスト
掲載事業

R7.4.1 » R8.3.31

@OBIHIRO CITY CENTRAL URBAN AREA

気になったアクションは、実施主体へお問い合わせください！

令和７年度アクションリスト掲載事業【公募事業】

番号	事業名	実施主体	実施期間	方針1	方針2	方針3	ページ
1	親子ボードゲーム会	Clover.Lab(クローバーラボ)	通年（月1回）	●		●	7
2	事業創発拠点事業（トカチコネクション事業）	公益財団法人とかち財団　LAND	通年			●	7
3	歩道ロードヒーティングの維持・管理	帯広市商店街振興組合連合会　加盟商店街	通年	●			8
4	共通駐車券事業	帯広市商店街振興組合連合会	通年	●			8
5	買物共通バス券事業	帯広市商店街振興組合連合会	通年	●			9
6	自慢の逸品事業	帯広市商店街振興組合連合会	通年	●			9
7	まちなかランチマップ	帯広市商店街振興組合連合会	通年	●			10
8	ゆらぎコンサート	とかちプラザ	通年 不定期開催	●	●	●	10
9	旅行計画アプリ活用による周遊促進	株式会社Plaru	通年	●			11
10	子育て世代・多世代交流促進事業（キッズカフェこっこ）	キッズカフェこっこ	通年			●	11
11	イベントへのダンス出演	谷口佳菜子（よつ葉キッズダンススクール、J&K ＤＡＮＣＥ ＳＣＨＯＯＬ）	通年（土日祝）	●	●	●	12
12	馬車BAR	十勝シティデザイン株式会社	通年	●		●	12
13	NUPKA Utari	HOTEL NUPKA, タカノビールスタンド、クナウパブリッシング	通年	●	●	●	13
14	ダンス出演（オビヒロホコテン、JOYFITキッズ発表会ほか各種イベント）	JOYFITキッズスクール	通年	●	●	●	13
15	帯広まちなか「商」学校事業	帯広商工会議所	通年	●		●	14
16	Tokachi Sweets Collective	Tokachi Sweets Collective	5月23日～24日、 7月18日～21日	●		●	14
17	ゆったり足湯ピザ工房	株式会社ふく井ホテル	5月25日	●			15
18	まちなか桜まつり	帯広西一条中央商店街振興組合	5月27日	●			15
19	第４回広小路マーケット	帯広商工会議所	6月1日	●			16
20	第３回北高等学校OB美術展	北高等学校OB美術展実行委員会	6月12日～17日	●			16
21	帯広★街バル	十勝毎日新聞社	6月25日～26日	●			17
22	お野菜マルシェ ipe (イペ)	HOTEL NUPKA, とかちから	6月～10月	●	●	●	17
23	Rock & Talk w/ Peter Barakan	HOTEL NUPKA, pontdoux	6月13日～14日	●			18
24	オビヒロホコテン（帯広まちなか歩行者天国）	帯広まちなか歩行者天国実行委員会	６月15日～９月７日	●		●	18
25	まちなか わくわく ジャズライブ	ジャズを感じる実行委員会	６月15日～９月７日	●	●	●	19
26	こども縁日店長体験	一般社団法人とかちイベンター協会	６月中旬～９月上旬	●			19
27	THE SPRINT -30mダッシュ最速決戦-	株式会社ATHBASE	7月13日、9月7日	●			20
28	十勝餃子フェスタ	十勝餃子フェスタ実行委員会	7月18日～19日	●			20
29	帯広どまんなかマルシェ	株式会社日本旅行北海道　帯広支店	8月23日、9月20日、 10月18日	●		●	21

番号	事業名	実施主体	実施期間	方針1	方針2	方針3	ページ
30	帯広名門夏祭り	帯広名門通商店街振興組合、 帯広名門通り共栄会	7月28日	●			21
31	おびひろ軽トラ市	おびひろ軽トラ市運営協議会	7月～12月初め 毎週土曜日早朝	●	●		22
32	暑さを吹き飛ばそうワイワイ祭り	帯広駅南地区商工振興会	8月7日	●			22
33	おびひろ広小路七夕まつり	帯広広小路商店街振興組合	８月	●			23
34	とかちビアガーデンｗｉｔｈキッチンカー	おびひろ街中賑わい応援委員会	8月2日～8月7日	●		●	23
35	TOKACHIの美食に火をつけろ	国際的なまちづくり実行委員会	8月10日			●	24
36	トカチカラプテ×Brights	トカチカラプテ実行委員会	8月10日	●	●	●	24
37	おびひろ音楽祭おびひろ未来ジャズ	ジャズを感じる実行委員会	8 月14 日～15 日	●	●	●	25
38	北の大地de大道芸2025	北の大地de大道芸実行委員会	8 月14 日～15 日	●			25
39	第５０回十勝小唄のど自慢大会	十勝小唄振興保存会	8月15日	●			26
40	おびひろ納涼祭	おびひろ納涼祭実行委員会	8月16日～17日	●			26
41	中村ミュージックスクール、SUMMER concert	中村ミュージックスクール	8月24日	●	●	●	27
42	おびまる	北海学園大学西村ゼミ	8月26日	●		●	27
43	Tokachiごちゃまぜアートワークショップ	一般社団法人青鳥舎	9月7日	●	●	●	28
44	みんなの絵	帯広栄通商店街振興組合	９月～１０月	●			28
45	まちゼミ inおびひろ事業	帯広市商店街振興組合連合会	９月～１０月	●			29
46	北の屋台まつり2025	北の屋台・北の起業広場協同組合	9月上旬一日限定	●			29
47	プラザまつり	とかちプラザ指定管理者　株式会社オカモト	9月6日～9月7日	●		●	30
48	帯広中心市街地「街探検!」	こりすのおうち、こりすのがっこう	９月11日、10月11日	●		●	30
49	十勝ラーメンフェスタ2025	十勝ラーメンフェスタ実行委員会	9月20日～21日	●			31
50	イレス祭	Asian・アイヌ居酒屋ポンチセ　豊川純子	11月23日	●			31
51	TokachiGekidan第2回公演	TokachiGekidan	12月6日～12月7日	●			32
52	おびひろイルミネーションプロジェクト事業	おびひろイルミネーションプロジェク実行委員会	12月～2月	●			32
53	帯広駅前の冬季限定屋外リンク 「トカチアイスパークプラス」	トカチアイスパークプラス実行委員会	12月下旬～2月 金土日祝・年末年始	●		●	33
54	新春ジャズフェスティバル	ジャズを感じる実行委員会	1月25日	●	●	●	33
55	とかちリトル映画祭	HOTEL NUPKA	2月（予定）	●		●	34

※帯広市関連事業は35ページ以降に掲載しています

事業番号	1	方針	1,3	実施期間	通年（月１回）
事業名	親子ボードゲーム大会				
実施場所	とかちプラザ（西４条南13丁目1）				
実施主体	Clover.Lab(クローバーラボ)				
連絡先	メール：tomamunature@gmail.com				
事業内容	親子ボードゲーム会を開催します。 対象は、４歳～中学生までのお子さんと保護者です。（お子さんのみの参加は要相談） 参加料は無料、事前予約制です。 ゲームは主催者が年齢別にセレクトしています。 置いてあるゲームは自由に手にとって遊ぶことができます。 公式note				

中心市街地活性化に寄与する効果・事業への想い（中心市街地活性化にどのように影響するか等）

【効果】
本事業を実施することにより、人と人とが繋がるあたたかな空間を提供し、たくさんの方がまちなかに来街するきっかけとなり、ボードゲームを通したあたたかな交流やにぎわいを創出し、活性化が期待されます。

【想い】
ボードゲームは、年齢を超え、すぐにお互いが楽しめる魔法のような道具です。私はこの事業を通して、普段は交わることのない方々が、自然と笑い合うあたたかな空間を作ることに寄与したいと思っています。小規模な事業ですが、昨年からすでに様々なつながりが生まれています。こういった小さな出会い、つながりを積み重ね、まちなかの盛り上がりに繋げていきたいと思います。

事業番号	2	方針	3	実施期間	通年
事業名	事業創発拠点事業（トカチコネクション事業）				
実施場所	LAND (西２条南11丁目12番地一天光堂ビル１階)				
実施主体	公益財団法人とかち財団　LAND				
連絡先	TEL：0155-67-7895　メール：land@tokachi-zaidan.jp				
事業内容	事業創発拠点LANDを活用し、事業相談や、起業・創業・事業拡大に関するイベント、ワークショップ等の各種支援事業（トカチコネクション事業）を実施します。 公式ホームページ				

中心市街地活性化に寄与する効果・事業への想い（中心市街地活性化にどのように影響するか等）

【効果】
事業相談や、起業・創業・事業拡大に関するイベント、ワークショップ等の各種支援事業を実施する事で事業創発拠点LANDの利用を通じて中心街への人流増および活性化を図ります。
【想い】
とかち財団は、挑戦する人が溢れる、活力ある十勝を実現を目指しています。LANDを通じて十勝発の新たなビジネスプランやアイディアが形になることで、まちなかの活性化にも繋がっていくと考えます。

事業番号	3	方針	1	実施期間	通年
事業名	歩道ロードヒーティングの維持・管理				
実施場所	中心市街地エリア内				
実施主体	帯広市商店街振興組合連合会　加盟商店街				
連絡先	-				
事業内容	商店街の歩道ロードヒーティングは、街路整備に合わせて、冬期における快適な歩行者空間の確保による賑わいづくりの基盤として、商店街が設置し維持しているもので、都市の魅力向上、商店街の活性化に貢献するものであり、中心市街地の活性化に必要な事業です。				

中心市街地活性化に寄与する効果・事業への想い（中心市街地活性化にどのように影響するか等）

【効果】
商店街の歩道ロードヒーティングは、冬期における快適な歩行者空間の確保による賑わいづくり、都市の魅力向上、商店街の活性化につながることが期待されます。
【想い】
商店街の歩道ロードヒーティング設備維持事業により、冬期間に快適な歩行者空間の確保、賑わいづくり、都市の魅力向上、商店街の活性化につなげていくことが出来ればと考えています。
歩道ロードヒーティングにより快適な歩行空間を確保している参加店へ、是非、お買い物に来てください。

事業番号	4	方針	1	実施期間	通年
事業名	共通駐車券事業				
実施場所	中心市街地エリア内				
実施主体	帯広市商店街振興組合連合会				
連絡先	TEL：0155-23-6546　メール：obisinren@mx6.et.tiki.ne.jp				
事業内容	中心市街地の商店街と駐車場がタイアップして共通の駐車券を発行し、中心部の駐車利便の向上と商店街の活性化を促進するものであり、中心市街地の活性化に必要な事業です。				

中心市街地活性化に寄与する効果・事業への想い（中心市街地活性化にどのように影響するか等）

【効果】
中心市街地区の駐車場で利用できる共通の駐車券を発行することで、課題となっている中心部の駐車利便の向上と商店街の活性化につながることが期待されます。
【想い】
共通駐車券事業により、駐車利便が向上することで、商店街の参加店での買い物行動につながり、商店街の活性化につなげていくことが出来ればと考えています。
共通駐車券事業の参加店へ、是非、お買い物に来てください。

事業番号	5	方針	1	実施期間	通年
事業名	買物共通バス券事業				
実施場所	中心市街地エリア内				
実施主体	帯広市商店街振興組合連合会				
連絡先	TEL：0155-23-6546　メール：obisinren@mx6.et.tiki.ne.jp				
事業内容	バス利用の買物客に共通バス券を提供し来街者の利便を図る事業で、商店街の魅力向上、商店街の活性化に貢献するものであり、中心市街地の活性化に必要な事業です。				

中心市街地活性化に寄与する効果・事業への想い（中心市街地活性化にどのように影響するか等）

【効果】
中心市街地への来街者サービスとして、当該事業参加店での買物によって、いずれのバス会社でも利用可能な共通バス券を提供することで、高齢者などの交通弱者への利便を図るものであり、来街者へのサービス向上とバス利用を促進する事業であることから、公共交通機関の利活用と中心市街地の活性化につながることが期待されます。
【想い】
いずれのバス会社でも利用可能な買物共通バス券の提供により、高齢者などの交通弱者への利便を図るものであり、来街者へのサービス向上とバス利用を促進する事業であることから、公共交通機関の利活用と中心市街地の活性化につなげていくことが出来ればと考えています。
買物共通バス券事業の参加店へ、是非、お買い物に来てください。

事業番号	6	方針	1	実施期間	通年
事業名	自慢の逸品事業				
実施場所	中心市街地エリア内				
実施主体	帯広市商店街振興組合連合会				
連絡先	TEL：0155-23-6546　メール：obisinren@mx6.et.tiki.ne.jp				
事業内容	商店街の各店舗で自慢できる商品を紹介、宣伝する事業です。 帯広市内全商店街の各店舗から、自慢できる商品、サービスの公募を行い、審査した上で「自慢の逸品」として選定し、パンフレット、Webサイトなどで広く市民に宣伝することで、各店舗の魅力を向上させることを目的に実施します。 中心市街地での商業の活性化を図る取り組みであり、中心市街地の活性化に必要な事業と考えます。 公式ホームページ				

中心市街地活性化に寄与する効果・事業への想い（中心市街地活性化にどのように影響するか等）

【効果】
帯広市内１５商店街・帯広市内の各商店からお申込みいただいた「逸商品」「逸サービス」から、帯広の「逸品」としてお客様に　お薦めできる商品・サービスを選定し、おびひろ「自慢の逸品」としてご紹介しています。
各店舗の魅力を向上させ、商業の活性化につながることが期待されます。
【想い】
同じ商品やサービスであれば、お客様は「より安く、より信頼性の高いお店」「より知名度が高いお店」を選択するのが「消費者心理」です。しかし、それでも、お客様がお店に足を運ぶのは、価格・ブランド以外にも、お店からの情報を重視しているからではないでしょうか？　情報提供こそ、本来地元の店舗が最も得意としていたところであったはずです。来街者・来店者の皆様へ、積極的に自店の「自慢の逸品」をPRしてください。
自慢の逸品事業により、各店舗の魅力向上、商業の活性化につなげていくことが出来ればと考えています。
自慢の逸品に取り組む各店舗へ、是非、足を運びお買い物してください。

事業番号	7	方針	1	実施期間	通年
事業名	まちなかランチマップ				
実施場所	中心市街地エリア内				
実施主体	帯広市商店街振興組合連合会				
連絡先	TEL：0155-23-6546　メール：obisinren@mx6.et.tiki.ne.jp				
事業内容	まちなかランチマップ」は、帯広市中心部（まちなか）の賑わいづくりと活性化の事業として、“まちなかでランチ営業する飲食店を紹介するパンフレット”です。 中心市街地の賑わいづくりと活性化の事業であり、中心市街地の活性化に必要と考えます。 特集ページ				

中心市街地活性化に寄与する効果・事業への想い（中心市街地活性化にどのように影響するか等）

【効果】
まちなかでランチ営業をしている飲食店を、地元の人や出張等で帯広に来ている人にも知ってもらうこと、併せて、昼間の賑わいづくりを目的に作成・配布するパンフレットです。
各店舗の魅力をPRし、商業の活性化につながることが期待されます。
【想い】
新型コロナウイルス感染症に加え、大型店の閉店、物価高騰など、経済環境が非常に厳しい中ですが、新規メニューやランチ限定メニューなどをPR する場としてご活用いただき、消費拡大とまちなかの賑わい、活性化につなげていくことが出来ればと考えています。
まちなかランチマップに掲載する各飲食店へ、是非、足をお運びください。

事業番号	8	方針	1,2,3	実施期間	9月～10月
事業名	ゆらぎコンサート				
実施場所	とかちプラザ（北海道帯広市西４条南13丁目）				
実施主体	とかちプラザ指定管理者　株式会社オカモト				
連絡先	TEL：0155-22-7890				
事業内容	十勝にゆかりのある演奏者を中心としたキャスティングによる地域密着型コンサートを開催します。とかちプラザ レインボーホールを拠点として定期的に開催することにより、十勝に住むあらゆる人達が音楽に積極的に関わり、親しみ、理解するための環境醸成を目的としています。				

中心市街地活性化に寄与する効果・事業への想い（中心市街地活性化にどのように影響するか等）

【効果】
定期的なコンサート開催は、市街地への来訪者数を増加させます。特に、十勝にゆかりのある演奏者を招致することで、地域住民だけでなく、近隣地域からの集客も期待できます。また、多様なジャンルの音楽に触れる機会を提供することで、地域住民の音楽に対する関心を高め、豊かな感性を育みます。
音楽イベントを開催することにより、市街地の魅力を向上させ、地域イメージを高めます。これにより、観光客誘致や移住促進にもつながる可能性があります。
【想い】
「ゆらぎコンサート」では、誰もが気軽に音楽に触れ、楽しめる空間を提供したいと考えています。「ゆらぎコンサート」を定期的に開催することで、多くの方にレインボーホールの素晴らしい音響を体感していただき、その魅力を発信していきたいと考えています。コンサートへ足を運ぶ方が増えれば、まちなかに賑わいが生まれることはもちろん、ホールの利用促進にも繋がり、まちなかの活性化に貢献できると信じています。

事業番号	9	方針	1	実施期間	通年
事業名	旅行計画アプリ活用による周遊促進				
実施場所	中心市街地全域（帯広市全体でも可能）				
実施主体	株式会社Plaru				
連絡先	メール：info@plaru.co.jp				

事業内容

AI旅行計画アプリ「Plaru」を活用し、周遊を促進する３つの事業実施を予定です。
１．アプリ内のデジタルマップ上に観光地情報を掲載。スポットジャンルごとの表示や地元の方のおすすめ情報等も反映し、地域の魅力スポットを簡単に発見可能。
２．AIにより個人の滞在時間や場所に合わせたオリジナルルートを提案。
３．周遊ルートデータの提供と効果検証。帯同者や趣味趣向を含めた属性データや旅行ルート情報等を提供し、既存の人流データ等と比べ観光施策に活用可能な質の高いデータの活用により、EBPMが可能な環境を構築。

公式ホームページ

中心市街地活性化に寄与する効果・事業への想い（中心市街地活性化にどのように影響するか等）

【効果】
本事業を通して、帯広市中心市街地の魅力が広く伝わることが期待されます。観光客が増えることによって経済活動が活性化するほか、市全体の観光周遊促進により複合的な効果も期待されます。アプリの活用により帯広市を訪れる方が様々な過ごし方で旅行を楽しみ、また訪れたいという想いの創出につながればと考えます。

【想い】
帯広市に5度訪れ、とても魅力溢れる地域だと感じています。中心市街地の六花亭や柳月等の名店、北海道随一の泉質のモール温泉、美味しい飲食店に加え、市内にはばんえい競馬場や幸福駅、有名ジンギスカン屋など魅力が多くあります。5度訪問してもまだ地元の方からはおすすめの場所を数多く聞きます。私達は有名なスポットはもちろん、地元のおすすめ情報をデジタルマップに反映させ、観光ルート内に含めて周遊促進ができます。市内の周遊により観光客の満足度や消費額を高め、帯広市の地域活性化に貢献します。

事業番号	10	方針	3	実施期間	通年
事業名	子育て世代・多世代交流促進事業（キッズカフェこっこ）				
実施場所	キッズカフェこっこ（大通南14丁目1）				
実施主体	キッズカフェこっこ				
連絡先	TEL：0155-67-4840　メール：info@iik.co.jp				

事業内容

子どもの屋内遊び場である「キッズカフェこっこ］は大型ネット遊具やボールプール滑り台、おもちゃなどを備えた空間となっています。
本事業ではまちなかでの子育て世代交流・多世代交流を促進するため、ママ会プラン、孫の日プラン、誕生会プランなど、より利用しやすいプランも用意し、まちなかで大人も子どもも楽しい時間を過ごして頂くことを目指しています。
詳しくは公式ホームページをご覧ください。

公式ホームページ

中心市街地活性化に寄与する効果・事業への想い（中心市街地活性化にどのように影響するか等）

【効果】
1か月平均来客人数は370名です。
子育て世代や多世代交流が生まれ、中心街に人が集まることで地元商店への経済効果が期待できます。

【想い】
キッズカフェこっこは、天候を気にせず子どもがのびのび遊べて、バンサンの食事も楽しめる空間です。遊び場で楽しめるだけではなく、食事の心配もいらないので、子育て世代の方にゆっくり過ごしていただけるお店です。子どもの月齢に合わせて、小上がり・見守りカウンター・テーブル席が選べる設計になっています。子育て世代同士の交流や多世代交流の場としても活用でき、人が集う事で帯広中心街への貢献もできると思います。

事業番号	11	方針	1,2,3	実施期間	通年（土日祝）
事業名	イベントへのダンス出演				
実施場所	旧藤丸前、オビヒロホコテン会場、とかちプラザなど				
実施主体	谷口佳菜子（よつ葉キッズダンススクール、J&K DANCE SCHOOL）				
連絡先	TEL：090-3892-0383　メール：free.kanako.fitness@gmail.com				
事業内容	十勝管内で子供から大人までのダンススクールを開校しています。ヒップホップダンス、K-POPダンスなど、人気の高いクラスが勢揃い！みんなのダンスを十勝で活躍出来る場所を求めてます。十勝のイベントやお祭りなどでダンスを披露し更に活気のある街作りができればと思っています。				

中心市街地活性化に寄与する効果・事業への想い（中心市街地活性化にどのように影響するか等）

【効果】
帯広市の子供達の習い事でダンスという項目が年々増えています。
しかし、ダンスを披露する場が少なくもっと子供達が輝ける場が増えたらと思っています。
ダンスイベントなどを開催すると出演する子の身内や仲間なども見にきてくれます。出演メンバーが多ければそれだけ観覧される方も増えます。イベントを行う事でそれだけ人が集まり活気が出ると思っています。
【想い】
街中が寂しくなりつつありますが、帯広市は人気の高い街です。
もっと盛り上げる為にもダンスを通して色んなイベントを提供したり、出演したりしていきたいです。

事業番号	12	方針	1,3	実施期間	通年
事業名	馬車BAR				
実施場所	HOTEL NUPKA（西２条南10丁目20-3）				
実施主体	十勝シティデザイン株式会社				
連絡先	TEL：0155-20-2600　メール：bashabar@nupka.jp				
事業内容	ばんえい十勝で活躍した輓馬ムサシコマが曳く馬車ツアー「馬車BAR」。JR帯広駅から徒歩3分の中心市街地にあるHOTEL & CAFE NUPKAを発着地点に、約2キロのコースを50分ほどで巡ります。馬文化を活かし、観光と地域資源を組み合わせた体験型コンテンツ。地元素材のクラフトビールやおつまみをお供に、北の屋台、帯広駅前など賑わい溢れる夜の中心市街地を馬車から眺める異日常体験をどうぞ。				

公式ホームページ

中心市街地活性化に寄与する効果・事業への想い（中心市街地活性化にどのように影響するか等）

【効果】
次の効果が期待されます。
１．帯広の夜の観光資源を増やし、宿泊観光の魅力を向上。
２．馬文化を都市空間に持ち込み、地域資源の活用によるブランド価値向上。
３．地元の飲食・宿泊事業者等との連携を強化し、観光と食文化の相乗効果を生む。
【想い】
帯広の中心市街地の活性化と、地域の馬文化を都市の魅力として再定義する試みです。単なる移動手段ではなく、馬と共にある風景が人々の記憶に残る体験となることを目指します。

事業番号	13	方針	1,2,3	実施期間	通年
事業名	NUPKA Utari				
実施場所	NUPKA Utari （西2条南10丁目）				
実施主体	HOTEL NUPKA、タカノビールスタンド、クナウパブリッシング				
連絡先	TEL：0155-20-2600　メール：info@nupka.jp				

事業内容

帯広市中心部に誕生した複合型施設「Utari（ウタリ）」は、地域情報の編集拠点、希少なビールスタンド、加工調理場、イベントスペースなど、異なる事業者が共存する空間。昼夜問わず、まちなかのにぎわいを生み出す拠点として機能します。施設はカフェバーエリアや「ほこみち」スペースも備え、歩行者が気軽に立ち寄れる設計になっています。さらに、レンタルスペース事業を通じて、地域の事業者が低コストで新しいチャレンジを行える環境を提供します。

中心市街地活性化に寄与する効果・事業への想い（中心市街地活性化にどのように影響するか等）

【効果】
次の効果が期待されます。
1．まちなかの活性化：帯広中心部の空き店舗問題に対する解決策として、複数事業者がシェアすることで継続的なにぎわいを創出する。
2．新規事業者の支援：高額な家賃負担を軽減し、小規模事業者やスタートアップが出店しやすい環境を整備。
3．多様なカルチャーの発信：地域メディア、リサイクル事業、クラフトビール、ローカルフードなどが融合し、帯広独自の文化を育む。
4．交流拠点の確立：イベントやカフェスペースを通じて、観光客・地元住民・事業者が交わる場を提供する。
【想い】
帯広のまちなかを、単なる商業エリアではなく、「人が集い、つながり、新しい価値が生まれる場」 にしたいという想いが根底にあります。近年、地方都市では空き店舗の増加が課題となる一方、独立した事業者にとって家賃や運営コストが負担となり、チャレンジのハードルが高い。Utariは、この課題を解決するための**「共創の場」** であり、個々の事業が独立しながらも、お互いに相乗効果を生み出せる仕組みを目指しています。
また、観光と地元の魅力を掛け合わせることで、「観光地としての帯広」だけではなく、「生活文化が魅力の帯広」という

事業番号	14	方針	1,2,3	実施期間	通年
事業名	ダンス出演（オビヒロホコテン、JOYFITキッズ発表会ほか各種イベント）				
実施場所	平原通り、文化ホール、駅北多目的広場など				
実施主体	JOYFITキッズスクール				
連絡先	TEL：0155-33-1010				

事業内容

JOYFITで日々練習をしている、発表の場として色々なイベントに出演させて頂いております。
このイベントを通して、日々の向上心や子供達、大人達が集まることによる帯広の街の活性化に繋がれば良いなと思っております！

公式ホームページ

中心市街地活性化に寄与する効果・事業への想い（中心市街地活性化にどのように影響するか等）

【効果】
おまつりやホコテンなどのイベントに大勢で参加する事で、帯広の街の集客や活性化に繋がれば良いなと考えております。

【想い】
ダンスを通して、帯広の街に若者がもっと訪れ、賑やかな街中にしたいと考えております。

事業番号	15	方針	1,3	実施期間	通年
事業名	帯広まちなか「商」学校事業				
実施場所	帯広まちなか「商」学校　（西2条南8丁目20　帯広広小路1区）				
実施主体	帯広商工会議所　会頭　川田　章博				
連絡先	TEL：0155-27-4774　メール：info@occi.or.jp（tsuruga@occi.or.jp）				

事業内容

1．お試し出店…中心部で将来出店を目指す人のための実験的出店の場を提供します。飲食業は面談の上、経営指導や企画協力を含めた支援をしつつ、月単位で利用できます。小売業やサービス業等他の業態は1日単位でスペースを提供します。
2．交流こうさ点…イベントや展示会、会議等人が集う場を設けたいという人に1日単位でスペースを提供します。
3．フェイスブック「帯広まちなか」発信…帯広まちなか「商」学校の情報のほか、中心部の情報を発信しています。

中心市街地活性化に寄与する効果・事業への想い（中心市街地活性化にどのように影響するか等）

【効果】
令和5年度は、高校生によるカフェ出店体験（17日間731人）、共同作業所の作品展示販売会（40日間436人）、元藤丸テナント出店者の出張販売（52日間624人）、子ども食堂の開催（9日間465人）、子どもの居場所と学習支援（27日間87人）、オームページ制作講座の利用（3日間4人）、帯広市商店街振興組合連合会主催「まちゼミ」との連動による簿記ミニ講座（3日間14人）、市内若手美術家のイラスト展（4日間38人）のほか、冬期間のオビヒロホコテン運営会議など会議の場を提供しました。さらに利用を促し、まちなかに足を運ぶきっかけとなることを期待しています。
【想い】
帯広商工会議所は、創業支援や経営支援の事業を展開しており、帯広まちなか「商」学校でのお試し出店もその一つの取組みです。簿記記帳や青色申告の指導、補助金や低利融資の情報も含め、様々な活用ができる帯広商工会議所の出先でもあるので、まちなかでの出店を考えている人ばかりでなく、経営のご相談にもお越しください。

事業番号	16	方針	1,3	実施期間	5月23日～24日、7月18日～21日
事業名	Tokachi Sweets Collective				
実施場所	utari（西2条南10丁目20-4）、藤丸パーク（西2条南7丁目）				
実施主体	Tokachi Sweets Collective				
連絡先	-				

事業内容

十勝に所縁のあるスイーツ作家が集まるTokachi Sweets Collectiveでは、5月と7月の2回、スイーツの販売イベントを2か所で開催します。
十勝や北海道の材料を使用し、複数の作家が作り出す個性的でバリエーションの豊かな作品が一堂に会する販売会です。

公式Instagram

中心市街地活性化に寄与する効果・事業への想い（中心市街地活性化にどのように影響するか等）

【効果】
開催場所を中心市街地とした理由は主に３つです。
・「人が集う」という特性を持った中心市街地での開催で人と人との交流を生み出します。
・中心市街地から「帯広名物」となるものを生み出します。
・飲食イベントが多い中心市街地で「買い物イベント」を開催することで、これまでにない曜日や時間帯の人の流れを生み出します。また、藤丸等の閉店で失われた「買い物客」というセグメント層の復活を生み出します。
【想い】
帯広・十勝で密かに活動するスイーツ作家たちの作品が帯広中心街に集結します。
小規模で作るからこその丁寧さと味へのこだわり。
一つひとつに思いが込もったお菓子を選ぶ楽しさ。
新しいお菓子を発見しに帯広中心街へ行こう！

事業番号	17	方針	1	実施期間	5月25日
事業名	ゆったり足湯ピザ工房				
実施場所	utari（西2条南10丁目20-4）				
実施主体	株式会社ふく井ホテル				
連絡先	TEL：0155-25-1717　メール：info@fukuihotel.co.jp				
事業内容	帯広市内の店舗前スペースを活用し、地元産の野菜やチーズを使った24cmピザ作り体験と、モール温泉を活用した足湯体験を組み合わせた1日限定イベントを開催します。 参加者は自らトッピングしたピザを石窯で焼き上げ、足湯に浸かりながら地域の味を楽しむことができる。 食と癒しの両面から、十勝の資源や魅力を体感してもらい、交流促進・関係人口創出・地産地消の推進を図ります。 公式Instagram				

中心市街地活性化に寄与する効果・事業への想い（中心市街地活性化にどのように影響するか等）

【効果】
本事業を実施することにより、ピザ作りと足湯を楽しめる体験型の癒し空間を提供し、たくさんの方がまちなかに来街するきっかけとなる。親子連れや観光客など幅広い層による交流や滞在時間の延長、飲食・買い物等の回遊促進が生まれ、中心市街地のにぎわいや地域経済の活性化が期待されます。

【想い】
帯広の中心市街地に人の流れと笑顔を取り戻したい。そう思い、本事業を企画しました。郊外化が進む中でも、「まちなかには行く理由がある」と感じてもらえる体験をつくることで、まちの魅力を再発見するきっかけを届けたいと考えています。十勝産の食材やモール温泉といった地域資源を活かし、世代や地域を超えた交流が生まれる空間を目指します。まちなかに、もう一度ワクワクする風景を増やしたい。その想いで取り組みます。

事業番号	18	方針	1	実施期間	5月27日
事業名	まちなか桜まつり				
実施場所	西１条南１０丁目				
実施主体	帯広西一条中央商店街振興組合　理事長　柳澤　一元				
連絡先	TEL：090-3775-4379　メール：t.mochizuki@piste-obi.com				
事業内容	5月２７日に初の「まちなか桜まつり」を開催します。 中心市街地の一部を歩行者天国とし、飲食ブースやステージイベントなど多彩な催しを通じて、誰もが気軽に参加できるにぎわいの場をつくります。				

中心市街地活性化に寄与する効果・事業への想い（中心市街地活性化にどのように影響するか等）

【効果】
まちなか桜まつりは、中心市街地が比較的閑散となる晩春の時期に、新しいにぎわいを生み出すきっかけになると考えています。

【想い】
この取り組みには、新しいことに挑戦して、まちなかを元気付けたいという思いが込められています。多くの方がまちなかの活気を絶やさないよう工夫を重ねており、こうした動きが大小さまざまに継続されることで、中心市街地のにぎわいを少しずつ取り戻していくことができると考えています。

事業番号	19	方針	1	実施期間	6月1日
事業名	第4回広小路マーケット				
実施場所	広小路商店街				
実施主体	帯広商工会議所				
連絡先	TEL：0155-67-7360　メール：shoko@occi.or.jp				
事業内容	藤丸百貨店の閉店により街中の核を失ったことで、中心市街地が空洞化しています。 そこで、中心市街地で全天候型アーケードをもつ、広小路商店街を「歩行空間」として、老若男女が「食べる」「買える」「遊べる」「休日をゆったり過ごす」ことを楽しめるマーケットイベントを実施し、来街者の増加、賑わいの創出を図り、新しい中心市街地の形成を目指します。				

中心市街地活性化に寄与する効果・事業への想い（中心市街地活性化にどのように影響するか等）

【効果】
①魅力的な目的地の形成
過去3回の開催では累計19,000人を超える来場者【第1回：8,883人（令和5年6月4日）、第2回：3,786人（令和5年9月30日）、第3回：6,856人（令和6年6月2日）】を記録し、多くの方々にまちなかの魅力を発信してきました。
第4回も、まちなかへの来街機会を創出し、さらなる魅力づくりに取り組んでいきます。
②恒常的なにぎわいの創出
今回は過去最多の出店者数を迎え、ファミリー層や高校生などの学生の若い世代が、まちなかへ足を運びたくなるような特別企画を実施します。さらにキッチンカー等による多彩な販売を通じて、来場者と出店者の双方がまちなかでの時間を楽しめるよう、にぎわいの創出を図っていきます。
【想い】
老若男女を問わず、誰もが中心市街地に「行きたい」と思えるようなきっかけをつくることを目的に、本事業を実施します。
特に、日ごろまちなかを訪れる機会の少ない世代の方々にも「来てよかった」、「また来たい」と感じてもらえるよう、出店者の皆さまとともに盛り上げてまいります、皆さまのご来場をお待ちしています。
また、当事業を通して、市民の皆さまが主体となってイベント等を企画・実施し、中心市街地に継続的なにぎわいが生まれるような機運醸成に繋げていきたいと考えております。

事業番号	20	方針	1	実施期間	6月12日～6月17日
事業名	第３回北高等学校OB美術展				
実施場所	帯広市民ギャラリーA室				
実施主体	北高等学校OB美術展実行委員会				
連絡先	-				
事業内容	３回目となる今展では、２日間に渡るパフォーマンス；肖像画制作ライブ、書道家による揮毫、来場者の書道体験、現代アート作家のインスタレーションとトークショーを行います。総数29名の出品者の約70点の多彩なジャンルの作品を会場に展示し、新しい試みやチャレンジの場となり、参加者、観覧者が皆一緒に楽しめることを願い、帯広市の芸術文化振興に寄与できればと思います。				

中心市街地活性化に寄与する効果・事業への想い（中心市街地活性化にどのように影響するか等）

【効果】
約800人の来場者数を想定しています。多彩なジャンルの作品の展示及びギャラリーパフォーマンスを通して、多くの市民との交流によりまちなかの賑わい創出が期待されます。
【想い】
各世代それぞれの分野で創作活動を続けている人達を紹介する場となり、市民の皆さんとの交流をしたいと考えています。

事業番号	21	方針	1	実施期間	6月25日～26日
事業名	帯広★街バル				
実施場所	帯広駅北側中心部（西３条南７～１３丁目～東１条南７～１３丁目付近）				
実施主体	十勝毎日新聞社				
連絡先	-				

事業内容

帯広中心部の各店を飲み食べ歩く「帯広街バル」。
１枚のチケット（１冊５枚綴り）と引き換えに、参加各店自慢のピンチョス（一品）とドリンクが味わえるはしご酒イベント。
街のにぎわい創出を目的に実施しています。

公式ホームページ

中心市街地活性化に寄与する効果・事業への想い（中心市街地活性化にどのように影響するか等）

【効果】
行楽・観光ハイシーズンを前に、「閑散期」と言われる６月の平日にイベントを実施します。
帯広市中心市街地においてにぎわいの創出を図ります。
老若男女問わず初めてのお店でも気軽に飲み食べ歩きすることができ地元飲食店や中心市街地の魅力を知ってもらう機会を提供します。
参加各店はイベント終了後の新規顧客獲得やリピーター増につながることを期待しています。
【想い】
今年で３回目となる「帯広★街バル」。
イベント当日、パンフレットを手に街中を歩く人たちの姿が街の風物詩となり当イベントがにぎわい創出の一助となることを願い開催しています。

事業番号	22	方針	1,2,3	実施期間	6月～１０月
事業名	お野菜マルシェ ipe（イペ）				
実施場所	HOTEL NUPKA（帯広市西２条南10丁目20-3）				
実施主体	HOTEL NUPKA、とかちから				
連絡先	TEL：0155-20-2600　メール：info@nupka.jp				

事業内容

「Ipe（イペ）」は、毎週金曜日にホテルヌプカ前で開催されるお野菜マルシェ。アイヌ語で「食事・食べ物」を意味する名前の通り、食を通じて地域の生産者、シェフ、食育事業者、消費者がつながる場を提供します。有機・慣行といった枠にとらわれず、「美味しい」を軸に選ばれた十勝の野菜を販売し、新鮮な食材の魅力を直接お届けします。
毎週金曜日 15:00-17:00　ホテルヌプカ前(雨天の場合は1階カフェスペースにてパンの出張販売 toiさんと共にお待ちしております。

中心市街地活性化に寄与する効果・事業への想い（中心市街地活性化にどのように影響するか等）

【効果】
次の効果が期待されます。
1．生産者と消費者のつながり強化：顔が見える販売を通じて、農家の想いや食材の魅力を直接伝える機会を創出。
2．地域の食文化の発信：単なる販売の場にとどまらず、シェフや食育事業者とも連携し、食の価値を深める。
3．持続可能な農業の支援：美味しさを追求する農家のこだわりを知ることで、地元産の食材を積極的に選ぶ文化を醸成。
4．まちなかのにぎわい創出：ホテルヌプカ前での開催により、観光客や地元住民が気軽に立ち寄れる空間を提供し、交流の場を生み出す。
【想い】
十勝は日本有数の農業王国でありながら、地元の食材が日常的に消費者とつながる機会は限られています。Ipeは「美味しい！」という感動を通じて、生産者と消費者の距離を縮め、地域の食文化をより豊かにすることを目指します。
ただの市場ではなく、食材の背景にあるストーリーを伝え、地元の人々が誇れる食文化を育てる場として機能させていく。
そして、「食」を通じて地域の輪が広がるような、温かく持続可能なコミュニティづくりに貢献していきます。

事業番号	23	方針	1	実施期間	6月13日～14日
事業名	Rock & Talk w/ Peter Barakan				
実施場所	HOTEL NUPKA（西２条南10丁目20-3）				
実施主体	HOTEL NUPKA、 pontdoux				
連絡先	メール：event@nupka.jp				
事業内容	「Rock & Talk w/ Peter Barakan」は、音楽評論家ピーター・バラカン氏を帯広に迎え、選りすぐりの楽曲とともに語り合うDJ＆トークイベント。ホテルヌプカを中心に、ワインバルなどの地元店舗と連携しながら、音楽と空間を楽しむ2日間の特別な企画です。				

中心市街地活性化に寄与する効果・事業への想い（中心市街地活性化にどのように影響するか等）

【効果】
次の効果が期待されます。
1．音楽文化の発信と継承：単なるライブではなく、音楽の歴史や背景を知ることで、新たな視点から音楽を楽しめる機会を提供。
2．帯広のナイトエコノミーの活性化：馬車BAR、北の屋台、ワインバルなど、地域の飲食・観光資源と連携し、イベントをきっかけに街の回遊性を高める。
3．観光・ワーケーション層への訴求：ピーター・バラカン氏の知名度を活かし、道外からの音楽ファンやカルチャー好きな層を帯広へ誘致。
4．地域とのコラボレーション促進：地元の店舗や事業者と連携し、イベントを通じて地域の魅力を発信する機会を創出。

【想い】
帯広のまちなかに、都市部とは異なる音楽の楽しみ方を根付かせたいという想いから始まった本企画。ピーター・バラカン氏の洗練された選曲と解説を通じて、ただ聴くだけではなく、音楽の歴史やカルチャーを深く理解し、共有できる場を作ることを目指しています。
また、音楽は単独で楽しむものではなく、人々と空間をつなぐ力を持つ。馬車BARやワインバルなど、帯広ならではのロケーションと融合させることで、音楽×地域文化の新しい体験を生み出し、訪れた人々に「また来たい」と思わせるような記憶を提供したいです。

事業番号	24	方針	1.3	実施期間	6月15日～9月7日間の毎週日曜日（8月17日除く）
事業名	オビヒロホコテン（帯広まちなか歩行者天国）				
実施場所	西２条南８・９丁目、広小路１・２区一帯の道路空間				
実施主体	帯広まちなか歩行者天国実行委員会　　実行委員長　細川　吉博				
連絡先	TEL：0155-23-4510　メール：office@hokoten.net				
事業内容	帯広の中心市街地に人と人との出会い・ふれあい・にぎわいをつくろうという目的で、市民ボランティアにより毎年夏の毎週日曜日開催されている歩行者天国のイベントです。 道路空間を活用し、サークル・学校・団体・個人・企業などによる、体験コーナーや出店、音楽やダンスの発表など様々な持ち込み参加型のイベントが行われます。 公式ホームページ				

中心市街地活性化に寄与する効果・事業への想い（中心市街地活性化にどのように影響するか等）

【効果】
本事業により、安心して楽しく街歩きができる空間、人と人とが交流できる機会を提供し、多くの方々が訪れることで、まちなかへのにぎわいの創出が期待できます。
来場者数見込み：シーズン合計約6～7万人（R5、６年度実績）

【想い】
当事業は、2006年から始まり、本年で20年目となります。多くのみなさんの笑顔に出会え、自分たちも楽しく活動しているのが継続できている秘訣だと思います。
市民による手作りのこの活動が、これからも帯広のまちなかの一つの文化として続いていったら良いと期待しています。

事業番号	25	方針	1,2,3	実施期間	6/15～9/7の毎週日曜日
事業名	まちなか わくわく ジャズライブ				
実施場所	広小路2区				
実施主体	ジャズを感じる実行委員会				
連絡先	TEL：090-2816-7768　メール：gen3-b.flat.maj7@docomo.ne.jp				
事業内容	毎年、オビヒロホコテンの開催される、6/15(日)～9/7(日)の毎週日曜日（8/17(日)のみお休み）全12 回の内、9 回ほどを使わせて頂き、広小路の2 区で14:00～16:00 の２時間、ビッグバンドやコンボなど様々なユニットで演奏させて頂いてます。				

中心市街地活性化に寄与する効果・事業への想い（中心市街地活性化にどのように影響するか等）

【効果】
次の効果が期待されます。
■ 地域のイベントの継続を応援していく、ミュージシャンの社会貢献としての活動
■ ミュージシャンの継続的活動を応援する場所作り
■ 街中で行うことでの活性化
■ これを見聞きした方や演奏した人で未来へつないでいく文化活動
【想い】
音楽の楽しさを感じていただきたいと思います。
是非、皆さんで街中を盛り上げるイベントに協力していただきたいと思います。

事業番号	26	方針	1	実施期間	6月中旬～9月上旬
事業名	こども縁日店長体験				
実施場所	広小路商店街周辺				
実施主体	一般社団法人とかちイベンター協会				
連絡先	TEL：090-7513-0048　メール：rscxp225@gmail.com				
事業内容	夏季を中心ににぎわう夏祭りの出店・露店、縁日の店長を子どもが体験できる職業体験コンテンツです。 昔なつかしの射的やさん、ヨーヨーやさん、かき氷やさんなど、みんな大好きな夏の風物詩を実際に試してはみませんか？ 公式ホームページ				

中心市街地活性化に寄与する効果・事業への想い（中心市街地活性化にどのように影響するか等）

【効果】
中心市街地は子供向けコンテンツが大型スーパー、デパートの閉店によって減少し、子供を含む家族が行く動機少ない現状と考えます。
その中で子供向けコンテンツに特化した当団体が、イベントなどに参加しアクションを展開することで、子どもを含む家族が来場するきっかけになり、関係消費や再来街につながると予想します。
【想い】
中心市街地への来街動機が少ないと感じる帯広市において、親子連れが楽しめるコンテンツを持つ当会がまちなかのイベントと関わることで、より親子連れにアプローチできると考えます。

事業番号	27	方針	1	実施期間	7月13日、9月7日
事業名	THE SPRINT -30mダッシュ最速決戦-				
実施場所	オビヒロホコテン会場				
実施主体	株式会社ATHBASE				
連絡先	TEL：080-1883-9728　メール：athbase.jsc@gmail.com				
事業内容	帯広市中心街の歩行者天国を舞台に、30mの直線ダッシュを専用の光電管センサーで正確に計測する体験型イベントです。 年齢・性別を問わず誰でも参加でき、親子での参加や記録証の配布などを通じて、地域の健康づくりや運動のきっかけ、交流と賑わいの創出を目指します。 楽しみながら「挑戦することの楽しさ」を体感できる新しいスポーツ企画です。 THE_SPRINT_2025 公式Instagram				

中心市街地活性化に寄与する効果・事業への想い（中心市街地活性化にどのように影響するか等）

【効果】
本事業を実施することにより、誰もが気軽に参加できる“挑戦と運動の空間”をまちなかに提供し、幅広い世代が来街するきっかけとなります。
親子や地域住民同士の交流が生まれ、笑顔や応援の声が飛び交うにぎわいを創出することで、まちなかの魅力向上と継続的な回遊促進が期待されます。

【想い】
まちなかに、子どもから大人までが全力で走り、挑戦し、笑顔になれる空間をつくりたい…その想いからこのイベントを企画しました。スポーツを通じて人が集まり、声をかけ合い、応援し合う風景が、まちなかの新たな魅力と活力につながると信じています。
地域の元気の原点として、まちなかをもっと面白く、もっと熱くしていきたいと考えています。

事業番号	28	方針	1	実施期間	7月18日～19日
事業名	十勝餃子フェスタ				
実施場所	藤丸パーク（西3条南7丁目14）				
実施主体	十勝餃子フェスタ実行委員会				
連絡先	TEL：0155-34-1281				
事業内容	十勝産小麦を使用した餃子の皮を共通素材に、十勝の飲食店10店舗による個性豊かな餃子を楽しめる「十勝餃子フェスタ 2025」を中心市街地で開催します。 焼き・水餃子の食べ比べに加え、アルコール類も提供し、お酒と餃子のペアリングを楽しむことができます。 夜間開催により、中心街の飲食店との連動を促し、人流とにぎわいの創出を目指します。				

中心市街地活性化に寄与する効果・事業への想い（中心市街地活性化にどのように影響するか等）

【効果】
夜間開催とアルコール提供を組み合わせた「餃子＋お酒」の体験は、これまでにない話題性を持ち、20～40代を中心とした幅広い層の来街を促します。回遊性を意識したチケット制と、個性豊かな店舗の出店により、イベント参加者は自然とまちの中を歩き回る仕組みとなっています。餃子という親しみやすいコンテンツを通じて、地域資源の再発見と「帯広らしさ」の発信を実現し、中心市街地のにぎわいと経済効果を生み出します。

【想い】
餃子は、幅広い世代に親しまれる「日常的なごちそう」でありながら、地域性や職人の工夫によって無限のバリエーションを生む奥深い食文化です。本イベントでは、そんな餃子を通じて十勝の食材の魅力と店舗の個性を発信し、食を起点とした交流と発見を生み出したいと考えています。帯広の中心街に人を呼び込み、飲食店や周辺エリアとの相乗効果を育みながら、「地元でしか味わえない楽しさ」を共に創っていきたいと思っています。

事業番号	29	方針	1,3	実施期間	8月23日、9月20日、10月18日
事業名	帯広どまんなかマルシェ				
実施場所	株式会社日本旅行北海道 帯広支店内 多目的スペース「Ｔ１９（ティー19）」（大通南8丁目19　帯広連鎖店ビル1階）				
実施主体	株式会社日本旅行北海道　帯広支店				
連絡先	TEL：0155-23-9294　メール：obihiro2_nhhkd@nta.co.jp				

事業内容

「広小路商店街」という、町の中心部に位置する立地を活かし、街の活性化を実現するには、集客力の高いイベントが必要と考えます。
十勝管内は、食料自給率1,345％（2024年産／フードバレーとかち推進協議会発表）を誇る一方、フードロス削減に向けた取り組みも課題となっております。これらに着目し、特に店頭に並ぶ機会のない規格外の食品や、学校の実習で生産した食材を販売及び提供することで、フードロスの削減及び学生並びに生徒の生産から販売までの一連の実習、更には昨今の物価高上昇に伴う消費者の需要に応えるべく、イベントを実施いたします。

中心市街地活性化に寄与する効果・事業への想い（中心市街地活性化にどのように影響するか等）

【効果】
今回、実施する場所でこれまで少なかった「人を呼び込む多くのイベント」を実施することで、この多目的スペースの認知度向上にもつながり、併せて今後、このスペースを借りたいと問い合わせが増えるような取組を行っていくことが、広小路商店街の多店舗へ足を運んでいただける契機となると期待しております。
　また、「旅行会社」×「マルシェ」という組み合わせは、どのようにして実施に至ったのかという点でも注目されるものであり、来場者が興味を湧くようなイベント内容（出展者の意外性、出店者数、提供する商品、販売価格等）とすることで、来場者が足を運んでいただくための契機となり、来場者の口コミ等で話題性を生むと考えております。

【想い】
帯広市民のみならず、十勝管内の住民が気軽に参加が出来るようなイベントを主体的に実施することで、この多目的スペースがどの場所に位置し、どのようなことが可能であるのか、またどのような催しを行っているのかをPRすることが出来、広告等を活用したプロモーション活動をしていくことで地域の更なる魅力向上とにぎわいの創出を図りたいと考えます。そのためには、中心市街地の姿や目標を地域で共有し、事業者や団体、関係機関等多様な主体と連携しながら、中心市街地活性化に向けた取組を実施していきたいと考えております。

事業番号	30	方針	1	実施期間	7月28日
事業名	帯広名門夏祭り				
実施場所	名門通１０丁目				
実施主体	帯広名門通商店街振興組合　理事長　木幡　裕之、帯広名門通り共栄会　理事長　萩　史之				
連絡先	TEL：0155-23-6546　メール：obisinren@mx6.et.tiki.ne.jp				

事業内容

今年で３５回目を迎える、帯広市の中心市街地で最も早く開催される夏祭りです。
名物の「うなぎのつかみどり」のほか、カラオケ大会やよさこいの演舞、もち・パンまきなどの実施を予定しています。
会場では飲食物の販売も行い、子どもから大人まで多くの人が夏の始まりを楽しむことができる機会となります。

中心市街地活性化に寄与する効果・事業への想い（中心市街地活性化にどのように影響するか等）

【効果】
商店街に多くの人が訪れることによって、地域の活性化が期待されるだけでなく、市民及び市外の方の交流を促進する機会になると考えています。
令和６年度は雨の中、延べ1、320(利用券数)人が来場しており、令和７年度をこれを上回る来場者数としたいと考えています。
【想い】
名門夏祭りを新型コロナウイルスの感染拡大によって３年間開催ができていませんでした。しかし、まちなかを元気にしたいという想いから、令和５年度に４年ぶりお祭りを開催しました。来場された皆さんの楽しそうな笑顔をみて、主催者一同も喜びを感じました。
今年も名門通に笑顔とにぎわいの声があふれることを心待ちにしています。
皆様のご来場をお待ちしています。

事業番号	31	方針	1,2	実施期間	7月～12月初め毎週土曜日7:00～8:00
事業名	おびひろ軽トラ市				
実施場所	帯広駅北多目的広場（予定）				
実施主体	おびひろ軽トラ市運営協議会				
連絡先	TEL：090-2816-7768　メール：gen3-b.flat.maj7@docomo.ne.jp				
事業内容	十勝の新鮮な野菜の美味しさを街中に住む方や観光客など多くの人に伝えることを目標に、10年以上、土曜日の朝におびひろ軽トラ市を開催しています。 **【中心市街地エリア以外での実施】** ・サラダ館（毎週火曜日16:00～17:00） ・緑ヶ丘公園（9月～10月中旬の毎週日曜日7:30～8:30） 公式Facebook				

中心市街地活性化に寄与する効果・事業への想い（中心市街地活性化にどのように影響するか等）

【効果】
買物をする街中の店舗が減少した為に困っている人達が、欲しい食材を手に取ることができます。
また、店舗開店前の時間の為、その後の街中の周遊にも期待できます。
【想い】
おびひろ軽トラ市として長い間やってきましたが、野菜だけの販売ではなく、その場で色々な食材がそろうようなマルシェを目指しています。街中や市街地のほか、お店が少ない場所などで、短い時間で美味しいものを手に取れる、徒歩でもお散歩のついでに行くことのできるマルシェにしたいです。

事業番号	32	方針	1	実施期間	8月7日
事業名	暑さを吹き飛ばそうワイワイ祭り				
実施場所	山下家具店北側駐車場（西２条南１５丁目）				
実施主体	帯広駅南地区商工振興会				
連絡先	-				
事業内容	駅南地区においてにぎわいの場をつくり、関係機関・団体との連携を深めるとともに、異業種間の交流を図るため、夏まつりを開催します。 本イベントは食べ飲み放題が特徴で、来場者は焼肉、焼きそば、フランクフルト等と、冷たい飲み物を思う存分味わうことができます。 ステージではバンドの生演奏のほか、お楽しみ抽選会も開催予定です。				

中心市街地活性化に寄与する効果・事業への想い（中心市街地活性化にどのように影響するか等）

【効果】
ワイワイ祭りはこれまで27回開催してきており、毎年多くの方に来場いただいているイベントです。
平日の中心市街地に500人以上が訪れることが見込まれます。また、１８時半からの開催であり、お祭り後には中心市街地の飲食店へ足を運ぶことも期待されます。
【想い】
暑く短い帯広の夏を、家族や職場の方などと楽しむことのできる場として、ワイワイ祭りを継続して開催してきています。
開催にあたっては多くの関係者が協力しており、駅南エリアの連携の深度化も図られています。
今年も、来場者の楽しむ様子、人と人との交流の様子が見られることを楽しみにしています。

事業番号	33	方針	1	実施期間	8月
事業名	おびひろ広小路七夕まつり				
実施場所	広小路商店街内				
実施主体	帯広広小路商店街振興組合　理事長　吉田克司				
連絡先	TEL：070-4110-7599　メール：hirokoujiobi@gmail.com				

事業内容

帯広市の夏を彩る「おびひろ広小路七夕まつり」を広小路商店街で実施します。商店街内に七夕飾りや子どもたちが絵を描いたＴシャツを展示する予定です。
会場内は歩行者天国とし、飲食をしながらまちなかで楽しい時間を過ごすことができます。
今年の開催は６８回目となる、歴史ある帯広のまちなかの夏の風物詩であるおまつりです。

中心市街地活性化に寄与する効果・事業への想い（中心市街地活性化にどのように影響するか等）

【効果】
中心市街地に多くの人が訪れる機会になると考えています。令和６年度は約９万人が来場しました。本事業は開催当日だけではなく、展示物の作成にあたり市内の高齢者施設や子どもたちなど、多くの人に協力を頂いて開催することができており、人のつながりを感じることのできるものです。
【想い】
市内の商店街で唯一アーケードを持っている広小路商店街は、天候に左右されず歩いてまちなかを楽しめる場所です。本事業をきっかけにまちなかに足を運んでいただき、新たな魅力を発見することで次の来街につなげたいと考えています。
多くの人の手によってつくり、引き継がれてきた七夕まつりを、今年も皆さんのご協力のもと成功させたいと考えています。

事業番号	34	方針	1,3	実施期間	8月2日～8月7日
事業名	とかちビアガーデンｗｉｔｈキッチンカー				
実施場所	おびひろ街中広場（帯広市西２条南９丁目）				
実施主体	おびひろ街中賑わい応援委員会				
連絡先	TEL：0155-34-1281　メール：y-tanaka@kunaw.jp				

事業内容

帯広の街中にある空き地に期間限定で現れるビアガーデン。コロナ禍に人が離れてしまった帯広中心街を盛り上げたいとの思いから企画し、十勝の食材を使ったキッチンカーが囲む会場で短い夏のひと時を楽しむイベントとして2022年にスタート。場内の照明は電気自動車から供給、キッチンカー等から排出されるCO2はカーボンクレジットで相殺するなど、ゼロカーボンの考え方も積極的に取り入れています。帯広中心街の賑わい創出と環境への配慮を両立させながら、和やかな雰囲気の空間を提供します。

公式Instagram

中心市街地活性化に寄与する効果・事業への想い（中心市街地活性化にどのように影響するか等）

【効果】
毎回5千人以上の来場があることから、期間中は中心街の賑わい創出に寄与できていると感じています。
【想い】
元気で賑わいのある中心市街地が大好きな仲間が、たくさんの人たちに帯広の街中を楽しんでもらいたいとの思いから立ち上げたイベントです。街中のキラキラした雰囲気の中で、夏の夜にはかかせない冷たいビールと美味しい食べ物に舌鼓。そんな贅沢な時間を過ごしていただきたいと、自分たちも楽しみながら実行委員会一同で頑張っています。皆様、とにかくビールを飲みに来てください！そして、ひとしきり楽しんだ後は街中の素敵な飲食店の数々に足を運んでみてください！

事業番号	35	方針	3	実施期間	8月10日
事業名	TOKACHIの美食に火をつけろ				
実施場所	藤丸パーク（西3条南7丁目14）				
実施主体	国際的なまちづくり実行委員会				
連絡先	TEL：090-4254-0016　メール：yusuke_kawai0910@yahoo.co.jp				
事業内容	とかち帯広の魅力ある資源の磨き上げを図り、地域全体で発信力を高めることで、ブランド価値の向上と観光誘客の促進に繋げることを目的に開催します。 本事業は二部構成となっております。 第1部では、世界一のフーディー浜田岳文様に「地方から取り組む食文化」をテーマにご講演いただきます。また、第1部講演終了後、参加者には一品料理お召し上がりいただきます。 第2部では、株式会社ARKADEARの才津香果様に「美食とインバウンド」をテーマにご講演をしていただきます。 第一部と第二部の間に札幌の星付きのシェフmelimelo佐藤シェフとマリオンヌ小久保シェフによる十勝の食材を磨き上げた一品料理と国際的なまちづくり実行委員会メンバーが作るとかち帯広の食材を使った一品を無料で振舞います。				

中心市街地活性化に寄与する効果・事業への想い（中心市街地活性化にどのように影響するか等）

【効果】
本事業を実施することで、世界各地における食文化ブランド化の成功事例やガストロノミーツーリズムをご紹介いただき、参加された方およびとかち帯広の課題を認識し、その克服に向けたヒントを得ることを目的とした講演を実施します。
会場で講演を聞き、食事を楽しまれた方へには、美食文化への理解を深め、とかち帯広が今後発展するであろう道しるべを感じ取っていただき、とかちの魅力を感じていただきます。

【想い】
とかち帯広には、豊かな自然環境を背景に、高品質な農畜産物が数多く生産されており、「産地」としてのブランド力はすでに確立されています。しかし、サービスの磨き上げが十分に行われておらず、それは地域内での繋がりの弱さが、その主な要因となっています。
今後は、サービスをさらに磨き上げ、繋がりのある効果的な発信体制を構築することで、ブランド価値を一層高めていきたいと考えております。

事業番号	36	方針	1,2,3	実施期間	8月10日
事業名	トカチカラプテ×Brights				
実施場所	帯広駅北多目的広場				
実施主体	トカチカラプテ実行委員会				
連絡先	TEL：080-5584-4222　メール：yamamotodaigo0222@gmail.com				
事業内容	「子どもも大人も輝ける祭！」をテーマに開催します。 主な内容は以下のとおりです。 ★子ども達のダンス発表会　★おとな達の伝統芸能ナイトショー ★十勝の超こだわりグルメ屋台　★職業体験 ★子ども縁日　★お菓子撒き ★マジックショー　★心と体の癒し体験 公式Instagram				

中心市街地活性化に寄与する効果・事業への想い（中心市街地活性化にどのように影響するか等）

【効果】
本事業は同じイベント名で季節ごとに3～4回開催することで、中心市街地に人が集まる文化を形成しようと考えています。また、個人が集まった有志で作り上げる事業であるからこそ、ボランティアスタッフとして参加している方々が自発的に地域活性化を考えアイデアを出し合う交流ができています。その輪が広がることで、更なる地域活性事業の立ち上げも期待されます。
【想い】
藤丸、長崎屋が無くなり、街中に足を運ぶ機会が確実に減っています。そんな中、集まりたくなるイベントを季節ごとに同じイベント名で開催することで、「街に遊びに行く」という文化を再形成できると考えます。楽しいところに人は集まり、人が集まるところに経済が回るので、街中の活性化から帯広、十勝の活性化に繋がると信じて活動しております。
皆様のご協力よろしくお願い致します。

事業番号	37	方針	1,2,3	実施期間	8 月14 日～15 日
事業名	おびひろ音楽祭おびひろ未来ジャズ				
実施場所	帯広駅北多目的広場（予定）				
実施主体	ジャズを感じる実行委員会				
連絡先	TEL：090-2816-7768　メール：gen3-b.flat.maj7@docomo.ne.jp				
事業内容	毎年、「平原まつり」と一緒に行われる「おびひろ音楽祭」内の一部（14～15 日の12:00以降）を「おびひろ未来ジャズ」として使わせて頂いてます。14 日は「アコースティックDay」として地元シンガーソングライター、15 日は「ジャズDay」として地元ジャズメンが野外ステージで各日7 組7 時間くらい演奏しています。				

中心市街地活性化に寄与する効果・事業への想い（中心市街地活性化にどのように影響するか等）

【効果】
次の効果が期待されます。
■ 地域のイベントの継続を応援していく、ミュージシャンの社会貢献としての活動
■ ミュージシャンの継続的活動を応援する場所作り
■ 街中で行うことでの活性化
■ これを見聞きした方や演奏した人で未来へつないでいく文化活動
【想い】
音楽の楽しさを感じていただきたいと思います。
是非、皆さんで街中を盛り上げるイベントに協力していただきたいと思います。

事業番号	38	方針	1	実施期間	8月14日～15日
事業名	北の大地de大道芸2025				
実施場所	平原通、広小路商店街ほか				
実施主体	北の大地de大道芸実行委員会				
連絡先	-				
事業内容	8月14日、15日に行われる「おびひろ平原まつり」に合わせて2002年から開かれている大道芸フェスティバルです。 今年は9組11名のトップパフォーマーが十勝に集結。王道のジャグリングから、フェイスペイント、街中を練り歩いてパフォーマンスを行うウォーキングアクトなど、様々な妙技を繰り広げます。 15日の夜にはその日限りのコラボパフォーマンス「ファイナルショー」で幕を閉じます。 公式ホームページ				

中心市街地活性化に寄与する効果・事業への想い（中心市街地活性化にどのように影響するか等）

【効果】
今年で23年目を迎え、大道芸人の固定ファンの市民がいたりと、十勝・帯広に大道芸文化が根付きつつあります。それに加え、全国から大道芸ファンが来帯し、観光目的の一翼を担っています。
当日は平原通りや広小路商店街など、複数箇所でパフォーマンスを行うことにより、観客の中心市街地周遊、滞在時間の増加をもたらすことが期待されます。

【想い】
本事業を通して、地域住民、観光客、出演者が互いに中心市街地ににぎわいをもたらすきっかけとなることを願います。

事業番号	39	方針	1	実施期間	8月15日
事業名	第５０回十勝小唄のど自慢大会				
実施場所	とかちプラザ・アトリウム（西4条南13丁目1）				
実施主体	十勝小唄振興保存会				
連絡先	-				
事業内容	十勝小唄は１９７４年に「十勝小唄振興保存会」が発足、その保存普及、振興に力を入れてきました。 本事業は、翌１９７５年に「第１回十勝小唄のど自慢大会」を開催し、今では帯広市の平原まつりの名物行事として定着、夏の風物詩として欠かせない催しとなっています。 大会を重ね、本年第５０回を迎えます。 これを契機として十勝小唄の普及、振興を図るとともに、中心市街地の賑わいを創出します。				

中心市街地活性化に寄与する効果・事業への想い（中心市街地活性化にどのように影響するか等）

【効果】
十勝小唄のど自慢大会は会場をとかちプラザに変更して３年目を迎えます。
新たに第５０回記念として平原まつり会場と大会会場に相互のチラシを配布して、人の流れをつくり、中心市街地の人の滞留時間を増やし賑わい創出を目指します。

【想い】
第５０回記念として大会のPRをします。平原まつりの来場者、観光客を大会会場へ誘導して街なかの賑わいを創出します。
十勝の民謡界では１９６０年代から歌い継がれている十勝小唄が、市民もまだ聞いたことがない人も多く、また観光客にも聞いていただける機会だと考えております。
これを契機に十勝小唄の普及を図り、十勝・帯広をPRすることができます。

事業番号	40	方針	1	実施期間	8月16日～17日
事業名	おびひろ納涼祭				
実施場所	帯広駅北多目的広場				
実施主体	おびひろ納涼祭実行委員会				
連絡先	メール：sato.a@sh-inc.net				
事業内容	第5回おびひろ納涼祭を開催します。 会場では、以下の様々なコンテンツをお楽しみいただけます。 ・トラックステージの設置、ステージ企画の運営 ・縁日、大道芸等の実施 ・ビアガーデンの実施 ・キッチンカー等、移動販売の実施				

中心市街地活性化に寄与する効果・事業への想い（中心市街地活性化にどのように影響するか等）

【効果】
おびひろ納涼祭の実施により多くの来場者が集まり、飲食店や小売店の売上向上が見込まれます。特に、地元の特産品や限定メニューの提供は、新規顧客やリピーターの増加につながると考えます。さらに、祭りを通じて住民や観光客が交流し、地域の一体感が生まれるほか、メディアやSNSでの発信により、おびひろの魅力が広く認知され、観光客の誘致や移住促進にもつながります。このように、経済的・社会的な波及効果をもたらし、中心市街地の持続的な発展に寄与します。
【想い】
私たちは、まちなかを魅力的な場所にし、多くの人が集い、にぎわう空間をつくりたいと考えています。近年、地方都市の中心市街地は活気を失いつつありますが、まちなかには歴史や文化、人々の想いが詰まった大切な場所がたくさんあります。私たちはイベントや事業を通じて、人々が気軽に訪れ、楽しめる場を提供し、地元の魅力を再発見する機会を創出します。また、地元の商店や企業と連携し、新たな賑わいを生み出すことで、地域経済の活性化にもつなげていきます。まちなかが元気になれば、地域に住む人々が誇りを持ち、訪れる人々にも愛される街へと成長します。私たちは、そんな未来を目指し、まちなかを盛り上げる活動を続けていきます。

事業番号	41	方針	1,2,3	実施期間	8月24日
事業名	中村ミュージックスクール、SUMMER concert				
実施場所	帯広駅北多目的広場				
実施主体	中村ミュージックスクール				
連絡先	TEL：090-1642-2323　メール：nakamuramamiko@icloud.com				

事業内容

中村ミュージックスクールとして夢の北広場（駅北多目的広場）を活用し、生徒の意欲向上と歌の楽しさを広める為、屋外イベントを開催します。
本イベントを通し、市民の皆様にも楽しんで聞いていただき又は参加していただき、帯広市街中の活性化やにぎわいの創出を目的として活動しております。

中心市街地活性化に寄与する効果・事業への想い（中心市街地活性化にどのように影響するか等）

【効果】
中村ミュージックスクールのイベント開催により、通りがかりの皆さんが街中イベントに参加したいと思えるように、幼児から大人、御高齢者まで夢の北広場で楽しめる催しを目標にしたいです。また異業種とのコラボイベントの開催により出入りを含め想定来場者を200～300人は集客したいと考えます。
【想い】
様々な人が中心市街地に行きたいと思えるような目的をつくるために、この事業を実施します。中心市街地が持つポテンシャルを最大限に発揮し、来てよかったと思ってもらえる事業となるよう、実行委員会の仲間と協力していきます。一緒にやりたいと感じて頂いた方はぜひご連絡ください。皆様のご参加・ご来場をお待ちしています。

事業番号	42	方針	1,3	実施期間	8月26日
事業名	おびまる				
実施場所	藤丸パーク（西3条南7丁目14）				
実施主体	北海学園大学西村ゼミ				
連絡先	TEL：080-5595-3592　メール：nn@hgu.jp				

事業内容

現代社会では、消費者と生産者の“つながり”が希薄になり、私たちは食べ物が「どこで、誰によって、どんな思いで」作られているのかを知らないまま消費することが当たり前になっています。また、忙しい生活や利便性の追求によって「個食」や「孤食」が進み、家庭や地域における人と人との“つながり”も失われつつあります。
そこで私たちは、十勝の魅力を体感できる地域食堂や、十勝産野菜の販売・生産者との交流、染物体験、帯広をモチーフにしたジオラマ制作などを通じて、“つながり”を生み出す活動を行います。
本活動は、地域の食や文化にふれることで、人と人とのつながりを再び育み、持続可能な地域社会の実現を目指すものです。

OBIMARU_20250826
公式Instagram

中心市街地活性化に寄与する効果・事業への想い（中心市街地活性化にどのように影響するか等）

【効果】
本事業を実施することにより、地域の食や文化にふれることができる温かいつながりのある空間を提供し、たくさんの方がまちなかに来街するきっかけとなり、世代や立場を超えた交流やにぎわいを創出し、地域のつながりの再生が期待されます。

【想い】
今回、札幌の大学生でありながら帯広の中心市街地でイベントを実施する機会をいただき、あらためて多くの方々のご協力とご支援に深く感謝しております。そして、地域を盛り上げたいという皆様の熱い思いに触れ、私たち自身もその想いを強く胸に刻みました。
私たちは、食や人とのつながりを軸に、地域の魅力を再発見し、まちなかに新たなにぎわいや交流を生み出すことで、帯広市の未来に貢献したいと考えています。
この事業を通じて、「まちなかをよりよくしたい」「まちなかを盛り上げたい」という想いを形にし、帯広のまちがこのイベントをきっかけに少しでも前向きに変わっていけるよう、これからも全力で取り組んでまいります。

事業番号	43	方針	1,2,3	実施期間	9月7日
事業名	Tokachiごちゃまぜアートワークショップ				
実施場所	藤丸パーク（西3条南7丁目14）				
実施主体	一般社団法人青鳥舎				
連絡先	TEL：0155-29-4873　メール：seityousya@gmail.com				

事業内容

藤丸パークのフェンスを地域の子どもたちの表現の場として活用し、参加型のアートワークショップを開催します。
子どもたちは自由に絵を描き、一人ひとりの感性がまちなかを彩ります。
この取り組みは、自己表現の喜びや地域とのつながりを育むとともに、まちに賑わいと交流の場を生み出すことを目指します。

中心市街地活性化に寄与する効果・事業への想い（中心市街地活性化にどのように影響するか等）

【効果】
本事業の実施により、美術館のようなアート空間をまちなかに創出し、アート鑑賞やワークショップへの参加を目的に来街するきっかけを生み出します。参加者同士の交流が生まれることで、地域とのつながりが深まり、その流れから他の中心市街地へも足を運ぶ動機づけとなることが期待されます。

【想い】
どの地域においても、「まちなか」はその土地のシンボル的な存在だと思います。そこに人の流れや賑わいがあるからこそ、地域全体の活力や発展にもつながっていくのだと感じています。
しかし、この地域は車社会であるがゆえに、「まちなか」と日常的な接点を持ちづらいと感じている人も少なくないのではないでしょうか。
だからこそ、今回のような取り組みを通じて、人と「まちなか」との間に新たな接点をつくり、親しみやすさや楽しさを感じてもらうことで、賑わいの創出につなげていけたらと考えています。

事業番号	44	方針	1	実施期間	９月～10月
事業名	みんなの絵				
実施場所	栄通９丁目・１０丁目（大通～西３条）				
実施主体	帯広栄通商店街振興組合　代表理事　杉山　輝子				
連絡先	-				

事業内容

栄通商店街を会場に、市内の幼稚園に通う子どもたちが描いたかわいい絵を展示します。
毎年恒例となっている本事業は、帯広市のまちなかの景色を彩っています。

中心市街地活性化に寄与する効果・事業への想い（中心市街地活性化にどのように影響するか等）

【効果】
子どもたちが描いた絵が、まちなかを歩く方々を楽しませます。絵を描いた子どもやそのご家族の方など、多くの人がまちなかに訪れることが期待されます。
【想い】
中心市街地には複数の商店街があり、栄通商店街をその一つです。ただ目的地を目指してまちなかを歩くだけではなく、「歩く楽しみ」を私たちの事業で生み出すことができればと考えています。
子どもたちが一生懸命に描いた絵を、ぜひ見に来てください。

事業番号	45	方針	1	実施期間	9月～10月
事業名	まちゼミ inおびひろ事業				
実施場所	中心市街地エリア内				
実施主体	帯広市商店街振興組合連合会				
連絡先	TEL：0155-23-6546　メール：obisinren@mx6.et.tiki.ne.jp				

事業内容

中心市街地を中心とした個店の店主等が講師となった少人数制のゼミナールを開催する事業です。
商店主と住民の距離を縮め、個店に足を運んでもらうきっかけづくりとするため、個店の店主等が講師となった少人数制のゼミナールを開催します。
中心市街地での商業の活性化を図る取り組みであり、中心市街地の活性化に必要な事業と考えます。

中心市街地活性化に寄与する効果・事業への想い（中心市街地活性化にどのように影響するか等）

【効果】
専門店ならではの専門知識や情報を受講者に伝えることで、受講者が個店の存在や特徴を認識し、個店と受講者の信頼関係を構築します。
これにより、個店が有する本来の魅力が再発見され、中心市街地の魅力向上につながることが期待されます。
【想い】
個店の店主等が講師となった少人数制のゼミナールの開催によって、受講者であるお客様との距離を縮めファンになってもらい、信頼関係を構築することで、お客様として気軽にお店に足を運ぶ関係づくりにつながります。　「まちゼミｉｎおびひろ」事業により、各店舗の魅力を再発見し、中心市街地の魅力向上につなげていくことが出来ればと考えています。
「まちゼミｉｎおびひろ」に参加する各店舗へ、是非、足をお運びください。

事業番号	46	方針	1	実施期間	9月上旬の１日を予定
事業名	北の屋台まつり2025				
実施場所	北の屋台中央広場				
実施主体	北の屋台・北の起業広場協同組合				
連絡先	TEL：0155-23-8194　メールinfo@kitanoyatai.com				

事業内容

北の屋台店主全員で考えた一夜限りのメニュー、イベントなど内容盛りだくさん。
屋台の中央広場が巨大なキッチンとなり、屋台全体が一つの屋台となる一日。
美味しいものたくさん、笑顔もたくさんの楽しいイベントです。
時間は午後3時から午後8時まで。
前売券、当日券をご購入いただく、完全チケット制です。
毎回1,000人以上のお客さんで屋台の通りがごった返す、夏の終わりのイベントです。

中心市街地活性化に寄与する効果・事業への想い（中心市街地活性化にどのように影響するか等）

【効果】
日頃ご愛顧いただいている北の屋台にご家族連れでも来られる時間からイベントをスタート。
お父さんはいつもこんな楽しいところでお酒を飲んでズルイ！とお子さんにも楽しんでいただけるよう、事故が起きぬよう細心の注意を払っています。
家族でもまちなかに遊びに来ていただけるきっかけになる事を期待しています。
【想い】
とにかくまちを盛り上げたい。その一言です。

事業番号	47	方針	1,3	実施期間	9月6日～9月7日
事業名	プラザまつり				
実施場所	とかちプラザ（北海道帯広市西４条南13丁目）				
実施主体	とかちプラザ指定管理者　株式会社オカモト				
連絡先	TEL：0155-22-7890				
事業内容	帯広・十勝の生涯学習の中心であるとかちプラザを拠点として活発に生涯学習活動を行っている団体等が、その活動の成果を発表する場として開催します。 さらに、活動拠点である「とかちプラザ」を共通のキーワードとして、各団体等が世代間の垣根を越え、ともに≪学び、交流≫することで互いの理解を深め、刺激し合うことにより、それぞれの日頃の活動を充実させることを目的に開催します。				

中心市街地活性化に寄与する効果・事業への想い（中心市街地活性化にどのように影響するか等）

【効果】
とかちプラザを拠点とした生涯学習活動の成果発表会は、地域社会に多岐にわたる好影響をもたらし、中心市街地の活性化に大きく寄与することが期待されます。各団体の活動成果発表や世代を超えた交流は、参加者の学習意欲を高めるとともに、地域コミュニティの繋がりを強化します。
また、イベント開催による来訪者増加は地域経済の活性化に繋がり、とかちプラザの利用促進にも貢献します。生涯学習活動を通じた地域貢献の実感は、地域住民のシビックプライドを醸成し、持続可能な地域社会の実現を後押しします。
【想い】
とかちプラザを拠点とした生涯学習活動は、世代を超えた交流を生み出し、地域コミュニティを活性化させる力を持っています。この力を最大限に引き出し、まちなかに暮らす人々が互いに支え合い、学び合い、共に成長できる環境を築きたいと考えます。
子どもたちが放課後に集い、高齢者の方々が趣味の教室で新しいことを学ぶ。誰もが気軽に立ち寄れるカフェで談笑する。そんな温かい交流が生まれる場を増やしたいです。
まちなかに眠る歴史や文化の魅力を掘り起こし、発信することで、訪れる人々を惹きつけたいです。
この事業を通して、まちなかが人々の生活を豊かにする、かけがえのない場所になるよう、情熱を注ぎます。

事業番号	48	方針	1	実施期間	9月11日、10月11日
事業名	帯広中心市街地「街探検!」				
実施場所	中心市街地エリア内				
実施主体	こりすのおうち、こりすのがっこう				
連絡先	TEL：0155-34-8515　メール：korisu@jupiter.ocn.ne.jp				
事業内容	帯広市で児童発達支援と放課後等デイサービスの「こりすのおうち」「こりすのがっこう」の事業所です。 療育の分野で日々、お子様達と運動や勉強、社会参加をしております。お子様達が健やかに安心して過ごせる居場所を提供しております。 お子様達と先生、地域連携として畜産大学のボランティア部の皆さんと、年に一度帯広中心市街地のお店や公共施設を探検したり、インタビューをしております。 公式ホームページ				

中心市街地活性化に寄与する効果・事業への想い（中心市街地活性化にどのように影響するか等）

【効果】
お子様達の帯広市の魅力や知るきっかけとなり、そこで仕事をしている方々の話や体験をお聞きする事によって、地域連携、帯広市街地の興味へ繋がりを感じる活動内容としていきたいと思います。
【想い】
当事業所のお子様達通して地域連携でまちなかの魅力を知り、発信しお子様達の未来の夢に少しでも可能性を見出せるようになりたいです。
市街地商店街との繋がりを感じで将来の就労のきっかけ作りや憩いの場所作りを知ってもらいたいと思います。

事業番号	49	方針	1	実施期間	9月20日～21日
事業名	十勝ラーメンフェスタ2025				
実施場所	駅北多目的広場				
実施主体	十勝ラーメンフェスタ実行委員会				
連絡先	TEL：0155-34-1281				
事業内容	十勝産小麦100%使用の中華麺を条件に、十勝のラーメン店9店舗が集結する「十勝ラーメンフェスタ 2025」を中心市街地にて開催します。 来場者はチケットでラーメンの食べ比べができ、定番から個性派まで幅広いメニューを味わえます。 SNSを活用した集客や話題化を図り、来場者4,000人を目指します。 地域の食文化の再発見とにぎわいづくりを両立したイベントです。				

中心市街地活性化に寄与する効果・事業への想い（中心市街地活性化にどのように影響するか等）

【効果】
ラーメンという人気コンテンツをフックに、20～30代男性層やファミリー層の来街を促し、街なかのにぎわい創出を図ります。
十勝産食材を活かした中華麺による地域性の高い商品展開は、観光資源としての価値も持ち、中心市街地を起点とした新たな回遊ルートの創出に貢献します。また、話題性・投稿性の高いSNS連動イベントとして、オンライン上でも「帯広＝ラーメンの街」としての認知拡大が期待されます。

【想い】
ラーメンは、誰もが一度は食べたことのある国民的メニューでありながら、店舗ごとに異なる個性や技術、地元食材との相性が試される“地域の味”でもあります。
本イベントは、そんな十勝の“ラーメン職人”たちの技と想いを市民と観光客に届ける場として企画しました。
中心街に人が集い、食べて、語らい、新たなラーメンの魅力に出会うことで、「また行きたい帯広」をつくる一助となればと考えています。

事業番号	50	方針	1	実施期間	11月23日
事業名	イレス祭				
実施場所	帯広市西3条南10丁目16				
実施主体	Asian・アイヌ居酒屋ポンチセ　豊川純子				
連絡先	-				
事業内容	イレスとはアイヌ語で「イ＝それ」、「レス＝育てる」という意味です。この祭りで人と人とが出会い一緒に何かを育てていく。大事に育てた何かがやがて巣立ちまた何かを生み出し育ち、いつか大きな繋がりとなり暖かい幸せで包み込む。そんな未来に向けたメッセージを込めた祭りです。祭りでは前半にムックリ教室（ムックリはとても難しい楽器ですので音を鳴らすことを目標に）、刺繍教室など参加型のイベントを、後半（夜の部）では帯広出身のアイヌの歌姫豊川容子率いるバンド「nincup」のコンサートを開催します。アイヌ料理の販売も！				

中心市街地活性化に寄与する効果・事業への想い（中心市街地活性化にどのように影響するか等）

【効果】
最近では日本国内のオーバーツーリズムが大きな問題となっていますが、帯広を見るとインバウンドの方々が帯広の中心街で観光や飲食をする姿は稀です。そんな中でもポンチセは海外からのお客様が多いです。アイヌ文化に興味がある方や偶然見かけた異文化に興味津々の方。私の印象では帯広を訪れる外国人はとても旅慣れていて日本に対して強いリスペクトがあります。日本をよく知っている彼らにとって帯広はとても面白い穴場的な場所です。そんな心底面白い日本を体験できる帯広のポテンシャルを大いに引き出せる事業だと思います。
【想い】
本事業を実施することにより、今まで少しとっつきづらいと感じていたアイヌ文化体験をもっと身近に体験してもらうことができると思います。型にはまった固いイメージのものではなく、参加して一緒に楽しむ、その経験が一時のものではなく人と人とを繋ぎその輪が続いていき、さらに人が人を呼び初対面でも一体感がなぜか生まれる。そこに行けばなにか面白いことが起きるよっていう感覚を作り上げ街中のポジティブな賑わいを生み出すことができると思います。

事業番号	51	方針	1	実施期間	12月6日～12月7日
事業名	TokachiGekidan第2回公演				
実施場所	平原通り小劇場（西2条南9丁目12番地ギャルリーシノカワビル 地下1階西側）				
実施主体	TokachiGekidan				
連絡先	メール：tokachigekidan@dcthp.com				
事業内容	初心者でも参加可能な演劇の上演を目指します。 演劇の講師に指導を依頼したり、新しく台本を作る事で実現可能になります。 参加する人や演劇を楽しみにしている人がワクワクする時間を提供したいです。				

中心市街地活性化に寄与する効果・事業への想い（中心市街地活性化にどのように影響するか等）

【効果】
演劇や朗読などの公演を年2回実施する事を目指し公演前には1ヶ月6回の稽古を街中で実施します。
公演前の1週間は毎日稽古をします。その為その合間に団員は既存店へ食事に行きますので活性化が期待出来ます。
また1公演につきゲネプロを含め2日間で3回上演する事で、より多くの人に来場してもらえます。
さらには来場者が街の良さや新たな店舗の発見で継続的な街中への賑わいが望めます。
十勝の将来を担う人に育って欲しいとの想いで、写真家など若い人も参加する機会を増やし、その結果地元に愛される人が増え、共に楽しさや、感動を分かちあえることで生まれる人的交流が活性化への足がかりとなります。

【想い】
帯広駅前の昼間は歩いている人が少ない状況です。車で移動する人が多くてお店が点在しているのが原因だと思います。都会のように店舗が駅周辺に出来ると良いと思っています。その為には少しでも昼間の人口を増やす努力が必要です。今回の事業によって少しでも帯広駅周辺の人口増加に繋がれば幸いです。

事業番号	52	方針	1	実施期間	12月～2月
事業名	おびひろイルミネーションプロジェクト事業				
実施場所	帯広駅北交通広場（西２条南１２丁目）　　ハルニレの木・街路樹ほか				
実施主体	おびひろイルミネーションプロジェク実行委員会				
連絡先	TEL：0155-23-6546　メール：obisinren@mx6.et.tiki.ne.jp				
事業内容	イルミネーションにより中心市街地の活性化を図る事業　平成１４年度から継続して実施しています。 冬期間、中心市街地に賑わいを再生するため、地元企業が中心となり実行委員会を組織して、イルミネーションの一斉点灯を実施し、多くの市民が「イルミネーションてんとう募金」を通じて、参加することにより、自らまちづくりや中心市街地の活性化に対する意識の向上を図ることを目的とする事業です。 				

中心市街地活性化に寄与する効果・事業への想い（中心市街地活性化にどのように影響するか等）

【効果】
おびひろイルミネーションプロジェクトは、実行委員会を組織し、地元企業に協賛をいただくほか、イルミネーションてんとう募金(1球100円)をお願いして平成14年より毎年、実施しており、今年で２４年目となります。
シンボルツリーなどが輝き訪れる人々を温かく迎えることで、中心市街地「まちなか」に足を運んでいただくきっかけになってほしいです。
【想い】
帯広駅前のシンボルツリー「はるにれの木」をはじめ、駅前広場の街路樹７本、ハート型のオブジェにLEDを点灯することで、シンボルツリーなどが輝き訪れる人々を温かく迎えます。帯広の長く厳しい冬の期間に街に彩りを演出し、街を訪れる人々を暖かく出迎えます。
「イルミネーション」の点灯で、「まちなか」に足を運んでいただくきっかけになってくれればと考えています。

事業番号	53	方針	1,3	実施期間	12月下旬～2月(金土日祝・年末年始)
事業名	帯広駅前の冬季限定屋外リンク「トカチアイスパークプラス」				
実施場所	帯広駅周辺（駅北多目的広場※予定）				
実施主体	トカチアイスパークプラス実行委員会				
連絡先	メール：tokachiicepark2024@gmail.com				

事業内容

トカチアイスパークプラスは、冬の帯広を楽しめる屋外の天然リンクです。毎年冬季に帯広駅周辺にリンクを作り、市民や観光客の皆様にスケートやカーリング体験の場を提供しています。運営は、市民有志のボランティア、協賛者などの皆様ご協力により行われ、レンタルスケートシューズやカーリング用品もご利用いただけます。また、たくさんの協力者の皆様にイベントや出店などにより会場を盛り上げていただいています。
本事業は、スケート王国十勝の地域文化として根差しているスケートや、カーリングを気軽に楽しめるとともに、帯広市街地の活性化や市民の交流の場を創出することを目的として開催しています。

公式ホームページ

中心市街地活性化に寄与する効果・事業への想い（中心市街地活性化にどのように影響するか等）

【効果】
市民や観光客の交流の場を提供します。令和6年度は26日間で約7,500人の皆様にご来場いただき、にぎわいが創出されました。さらに、ボランティア・イベント出店者・協賛者などの皆様の協力を通じて、地域の主体同士の繋がりを強化し、多様な団体や市民のまちづくりへの参画を促進しています。令和7年度は夜の時間帯のライトアップなど新たな試みにより、約30日間で10,000人の来場を見込み、より一層の地域活性化を目指します。
【想い】
本事業は、十勝・帯広らしい冬の帯広駅周辺をより魅力的な場所にし、市民や観光客が気軽に楽しめる場所をつくるために実施しています。
スケートやカーリングを通じて、街ににぎわいを生み出し、人と人がつながる場を提供することが私たちの願いです。
中心市街地で氷の街のポテンシャルを最大限に引き出し、「来てよかった」と思える体験を届けられるよう、十勝・帯広の冬の一大イベントとなるよう、実行委員会の仲間、ボランティア・イベント出店者・協賛者をはじめとする多くの皆様とともに取り組んでいきます。ご協力・ご参加をお待ちしています。

事業番号	54	方針	1,2,3	実施期間	1月25日
事業名	新春ジャズフェスティバル				
実施場所	とかちプラザ２階レインボーホール				
実施主体	ジャズを感じる実行委員会				
連絡先	TEL：090-2816-7768　メール：gen3-b.flat.maj7@docomo.ne.jp				

事業内容

毎年、地元ジャズミュージシャンを中心にプロのゲストを呼び昼から夜まで、たっぷりジャズを聴いていただく「新春ジャズフェスティバル」を開催します。
例年、総勢２５名（多いときは、６０名）くらいで演奏しています。

中心市街地活性化に寄与する効果・事業への想い（中心市街地活性化にどのように影響するか等）

【効果】
次の効果が期待されます。
■ この流れで夜の街にも流れていただけたら、街中応援になる
■ ミュージシャンの継続的活動を応援する場所作り
■ これを見聞きした方や演奏した人で未来へつないでいく文化活動
【想い】
音楽の楽しさを感じていただきたいと思います。
是非、皆さんで街中を盛り上げるイベントに協力していただきたいと思います。

事業番号	55	方針	1,3	実施期間	2月（予定）
事業名	とかちリトル映画祭				
実施場所	HOTEL NUPKA（西２条南10丁目20-3）				
実施主体	HOTEL NUPKA				
連絡先	TEL：0155-20-2600				
事業内容	「とかちリトル映画祭」は、帯広のまちなかにあるホテルのカフェや飲食店を、小さな映画館へと変貌させ、街全体を映画祭の会場とするユニークなイベントです。毎年異なるテーマを掲げ、短編映画と音楽ライブのコラボレーションイベントを展開。映画鑑賞だけでなく、音楽との融合を通じて、視覚と聴覚の両方で楽しめる特別な体験を提供します。 公式ホームページ				

中心市街地活性化に寄与する効果・事業への想い（中心市街地活性化にどのように影響するか等）

【効果】
次の効果が期待されます。
１．まちなかの活性化：飲食店やカフェを映画館として活用することで、通常の利用者層とは異なる客層が流入し、帯広のナイトエコノミーを活性化。
２．映画文化の定着：都市部に比べ映画館の少ない地域で、多様な映画作品に触れる機会を創出し、映画文化を育む。
３．新しい観光資源の創出：映画祭を目的とした観光客の誘致につなげ、帯広・十勝の魅力を全国・世界に発信する。
４．地域コミュニティの形成：映画ファン、音楽ファン、クリエイター、飲食店オーナーなど、異なるバックグラウンドを持つ人々が交流し、新たなコラボレーションを生む場となる。

【想い】
「映画祭は映画館で行うもの」という固定観念を超え、「街そのものを映画の舞台にする」 という挑戦。帯広のまちなかには個性豊かな飲食店やカフェが点在しており、それぞれの空間が持つ魅力を最大限に活かしながら、新たな文化の風を吹き込みたいです。
映画をただ鑑賞するだけではなく、音楽ライブやアートとの融合により、感覚的な体験として深く刻まれるイベントを目指す。映画を通じて、帯広のまちなかに「また訪れたい」と思わせる特別な記憶を生み出し、地域に根付く新たな文化イベントとして育てていきます。

令和７年度アクションリスト掲載事業【帯広市関連事業】

番号	事業名	実施主体	実施期間	方針1	方針2	方針3	ページ
市1	まちなか催事支援事業	商業労働課	通年 （予算上限あり）	●		●	36
市2	市民活動交流センター運営事業	商業労働課	通年 （年末年始休館）	●	●		36
市3	市営駐車場管理運営事業	商業労働課	通年	●			36
市4	駅北多目的広場管理運営事業	商業労働課	通年	●			37
市5	商店街活性化事業演出・催事実施事業	商業労働課	通年	●			37
市6	商店街活性化事業地域いたわり商店街事業	商業労働課	通年	●			37
市7	帯広市高齢者おでかけサポートバス事業	介護高齢福祉課	通年	●			38
市8	高齢者いきいき元気事業	高齢者いきいきふれあい館 「まちなか」運営委員会	通年	●	●		38
市9	あいのりバス・タクシー事業	都市政策課	通年	●			38
市10	地域公共交通活性化事業	都市政策課	通年	●			39
市11	図書館利活用事業	図書館	通年	●	●		39
市12	文化振興事業	生涯学習文化課	通年	●	●		39
市13	帯広市空家購入等補助金	建築開発課	通年		●		40
市14	帯広市特定空家解体補助金	建築開発課	通年		●		40
市15	元気な中心市街地づくり促進事業	商業労働課	４月～６月 （募集期間）	●		●	40
市16	まちなかプレーヤーアクション発表会	商業労働課	下半期（予定）			●	41
市17	とかち・イノベーション・プログラム （TIP）	経済企画課	７月～11月（予定）			●	41
市18	おびひろ平原まつり	帯広のまつり推進委員会 （事務局：観光交流課ほか）	８月14日～15日（予定）	●			41
市19	子ども王国	帯広市教育委員会（学校地域連携課）、 帯広市制少年育成者連絡協議会	９月上旬	●		●	42
市20	おびひろ菊まつり	帯広のまつり推進委員会 （事務局：観光交流課ほか）	10月末～11月初旬 （予定）	●			42
市21	中学生からのメッセージ	帯広市教育委員会（学校地域連携課）、 帯広市教育研究会	11月上旬			●	42
市22	フードバレーとかちマラソン大会	帯広市（スポーツ課）、 フードバレーとかちマラソン実行委員会	11月2日	●			43
市23	とかち・市民「環境交流会」2025	環境課	11月15日	●			43

事業番号	市1	方針	1,3	実施期間	通年（予算上限に達した場合終了）
事業名	まちなか催事支援事業				
実施場所	中心市街地エリア内				
実施主体	帯広市				
連絡先	商業労働課　TEL：0155-65-4164 メール：commerce@city.obihiro.hokkaido.jp				
事業内容	中心市街地をフィールドにした多様な主体が行うイベント等の実施を、補助金により後押しします。補助金には様々な要件がありますので、詳しくは市ホームページをご確認ください。 まちなかにおける魅力的な取り組みをお待ちしています。 ● 対象者：市内外の個人、法人、任意団体等 ● 対象経費：広告宣伝費、使用料及び賃借料、消耗品費 ● 交付金額：最大20万円（補助率：10/10） 帯広市ホームページ ※4月１日以降に公開します				

事業番号	市2	方針	1,2	実施期間	通年（年末年始休館）
事業名	市民活動交流センター運営事業				
実施場所	帯広市市民活動交流センター（西４条南９丁目 北海道新聞社帯広ビル）				
実施主体	帯広市				
連絡先	商業労働課　TEL：0155-65-4165 メール：commerce@city.obihiro.hokkaido.jp				
事業内容	北海道新聞社帯広ビルの１階及び７階を賃貸し、多目的活動室や会議室などを備えた市民活動の拠点となる施設を整備しています。 ダンスや卓球のほか、囲碁・将棋・健康麻雀、その他サークル活動等、様々な用途でご利用いただけます。 ご利用の際は事前予約をお勧めしています。詳しくは市ホームページをご覧ください。 ＜参考＞令和５年度延べ利用者数：14,441人 帯広市ホームページ				

事業番号	市3	方針	1	実施期間	通年
事業名	市営駐車場管理運営事業				
実施場所	帯広駅北地下駐車場・帯広駅南駐車場　（帯広駅隣接）				
実施主体	帯広市				
連絡先	商業労働課　TEL：0155-65-4164 メール：commerce@city.obihiro.hokkaido.jp				
事業内容	帯広市では中心市街地に２つの市営駐車場を設置しています。 いずれの駐車場も最初の30分は無料でご利用いただけます。また、お得な回数券やプリペイドカードの取り扱いのほか、帯広市商店街振興組合連合会発行の共通駐車券も使用できます。 お車で来街の際は市営駐車場や周辺駐車場をご利用いただき、まちなかのでの滞在を満喫してください。 帯広市ホームページ				

事業番号	市4	項目	1	実施期間	通年
事業名	駅北多目的広場管理事業				
実施場所	帯広駅北多目的広場（西５条南７丁目１）				
実施主体	帯広市				
連絡先	商業労働課　TEL：0155-65-4165 メール：commerce@city.obihiro.hokkaido.jp				
事業内容	帯広駅の北側に50m四方の広場を整備しています。 電気や上下水道の設備を備えており、営利・非営利問わず、様々なイベントや発表の場などとして活用いただけます。 なお、イベント等を実施される場合、事前に占用利用の申込と使用料の支払いが必要となります。 まちなかでのアクションを検討の際には、ぜひ駅北多目的広場も会場候補の１つとしていただければと思います。お気軽にご相談ください。 帯広市ホームページ				

事業番号	市5	方針	1	実施期間	通年
事業名	商店街活性化事業演出・催事実施事業				
実施場所	各商店街				
実施主体	帯広市				
連絡先	商業労働課　TEL：0155-65-4164 メール：commerce@city.obihiro.hokkaido.jp				
事業内容	市内の商店街が実施する、夏まつり・緑化・イルミネーションなど様々な催しの実施を、補助金により支援します。 毎年、各商店街による特色ある取り組みが行われていますので、ぜひ各商店街のアクションをお楽しみください。 （各商店街のアクションは別ページでご覧いただけます）				

事業番号	市6	方針	1	実施期間	通年
事業名	商店街活性化事業地域いたわり商店街事業				
実施場所	各商店街				
実施主体	帯広市				
連絡先	商業労働課　TEL：0155-65-4164 メール：commerce@city.obihiro.hokkaido.jp				
事業内容	市内の商店街が実施する、過ごしやすい環境づくりや新規イベントの試験的実施などの短期的事業の実施を、補助金により支援します。 毎年、各商店街による特色ある取り組みが行われていますので、ぜひまちなかへお越しください。 （各商店街のアクションは別ページでご覧いただけます）				

事業番号	市7	方針	1	実施期間	通年
事業名	帯広市高齢者おでかけサポートバス事業				
実施場所	中心市街地エリアほか				
実施主体	帯広市				
連絡先	介護高齢福祉課　TEL：0155-65-4145 メール：care@city.obihiro.hokkaido.jp				
事業内容	バスの無料乗車証の交付により、高齢者の外出・移動を支援し、社会参加の促進や健康の維持増進などを図ります。 満70歳以上の帯広市民の方が対象となります。 帯広市ホームページ				

事業番号	市8	方針	1,2	実施期間	通年
事業名	高齢者いきいき元気事業「まちなか」				
実施場所	高齢者いきいきふれあい館「まちなか」（西２条南７丁目１番地）				
実施主体	高齢者いきいきふれあい館「まちなか」運営委員会				
連絡先	高齢者いきいきふれあい館「まちなか」 TEL：0155-67-6799　メール：obihiro-machinaka@outlook.jp				
事業内容	高齢者の余暇や自由時間の有効活用のため、高齢者が「高齢者おでかけサポートバス事業」や様々な移動手段を利用することにより、買い物や趣味・文化活動、交流などの多様な外出機会を増大させることで、高齢者の社会参加・社会活動につなげ、いきがいづくりと健康増進を図ります。 公式ホームページ				

事業番号	市9	方針	1	実施期間	通年
事業名	あいのりバス・タクシー事業				
実施場所	中心市街地エリア・川西地区・大正地区				
実施主体	帯広市				
連絡先	都市政策課　TEL：0155654176 メール：city_plan@city.obihiro.hokakido.jp				
事業内容	帯広市中心部と川西地区、大正地区を結ぶ、予約制のデマンドバスです。 毎週月～金曜日に運行しています。（年末年始運休） 中心市街地を含む市内各所で乗降車できます。 帯広市ホームページ				

事業番号	市10	方針	1	実施期間	通年
事業名	地域公共交通活性化事業				
実施場所	バスターミナルおびくる（西１条南12丁目１）				
実施主体	帯広市				
連絡先	都市政策課　TEL：0155654176 メール：city_plan@city.obihiro.hokakido.jp				
事業内容	帯広駅バスターミナル「おびくる」運営に係る事業です。 おびくるはバスの切符売り場をはじめ、発着案内が一目でわかる大型ビジョン、トイレや椅子もあり、待合所としてゆっくりとすごすことができます。 帯広市ホームページ 				

事業番号	市11	方針	1,2	実施期間	通年
事業名	図書館利活用事業				
実施場所	帯広市図書館（西２条南14丁目）				
実施主体	帯広市				
連絡先	図書館　TEL：0155-22-4700 メール：tosyo@lib-obihiro.jp				
事業内容	中心市街地に所在する図書館において、子どもから高齢者までの多様な世代を対象とした各種事業や関係機関との各種連携事業の実施、また、中心市街地内で開催される事業への参加や連携協力をします。詳しくは図書館ホームページをご覧ください。 公式ホームページ				

事業番号	市12	方針	1,2	実施期間	通年
事業名	文化振興事業				
実施場所	帯広市民文化ホール（西５条南11丁目48-２）ほか				
実施主体	帯広市				
連絡先	生涯学習文化課　TEL：0155-65-4209 メール：culture@city.obihiro.hokkaido.jp				
事業内容	中心市街地などで、市民主体の文化芸術活動の発表の場を提供するとともに、優れた文化芸術を鑑賞する機会を提供する事業です。 ５月には、帯広市民文化ホール、とかちプラザ、帯広市民ギャラリーなどにおいて「おびひろ市民芸術祭」を開催します。 そのほかの文化振興事業については、帯広市文化スポーツ振興財団ホームページや広報誌などで随時おしらせします。 				

事業番号	市13	方針	2	実施期間	通年
事業名	帯広市空家購入等補助金				
実施場所	中心市街地エリアほか				
実施主体	帯広市				
連絡先	建築開発課　TEL：0155-65-4179 メール：architecture@city.obihiro.hokkaido.jp				
事業内容	空家等の利活用の促進や快適な住環境の充実を図るため、空き家を自ら居住するために購入された方に対し、改修工事又は解体工事にかかる費用の一部を補助します。（上限額30万円） 帯広市ホームページ				

事業番号	市14	方針	2	実施期間	通年
事業名	帯広市特定空家解体補助金				
実施場所	中心市街地エリアほか				
実施主体	帯広市				
連絡先	建築開発課　TEL：0155-65-4179 メール：architecture@city.obihiro.hokkaido.jp				
事業内容	生活環境の向上を図るため、住宅性能が著しく低下している特定空家等を解体する場合に解体費用の一部を補助します。（上限額50万円） 帯広市ホームページ				

事業番号	市15	方針	1	実施期間	4月～6月（募集期間）
事業名	元気な中心市街地づくり促進事業				
実施場所	中心市街地エリア				
実施主体	帯広市				
連絡先	商業労働課　TEL：0155-65-4164 メール：commerce@city.obihiro.hokkaido.jp				
事業内容	中心市街地活性化に寄与する、魅力的な拠点づくり（店舗活用型）を、補助金により後押しします。補助金には様々な要件がありますので、詳しくは市ホームページをご確認頂くとともに、上記連絡先まで事業概要について事前にご相談をお願いします。 ● 対象者：市内外の個人、法人、任意団体等 ※会社規模や本店所在地に関して限定はありません。 ● 対象経費：事業開始までに要する経費（店舗改装費等） ● 交付金：最大500万円（補助率：審査点による（1/2または1/3）） 帯広市ホームページ				

事業番号	市16	項目	3	実施期間	下半期（予定）
事業名	まちなかプレーヤーアクション交流会				
実施場所	未定				
実施主体	帯広市				
連絡先	商業労働課　TEL：0155-65-4164 メール：commerce@city.obihiro.hokkaido.jp				
事業内容	アクションリストに掲載の事業を実施するプレーヤーの交流を目的に開催します。それぞれの取組内容や想いを共有することで、互いの事業内容を高め合うことや、連携した新たなアクションが生まれることを期待するものです。 まちなかの活性化に熱い想いをもったプレーヤーが集う、刺激ある会となることを目指します。				

事業番号	市17	方針	3	実施期間	7月～11月（予定）
事業名	とかち・イノベーション・プログラム（TIP）				
実施場所	帯広信用金庫中央支店３階セミナールーム（西３条南14丁目１-１）				
実施主体	帯広信用金庫、十勝19市町村（帯広市：経済企画課）				
連絡先	経済企画課　TEL：0155-65-4163 メール：keizai@city.obihiro.hokkaido.jp				
事業内容	十勝の挑戦者（起業家候補）が、数種類のワークショップを通じて新事業創造を行うプログラムです。挑戦者のWants（やりたいこと）を出発点とし、プログラム参加者同士や全国の革新的な経営者との化学反応を通じて新しい事業を生み出していきます。 毎年６月頃に参加者を募集します。募集情報やプログラムの様子などはFacebook公式ページよりご覧ください。起業等をお考えの皆様のご参加をお待ちしております。 公式Facebook TOKACHI INNOVATION PROGRAM				

事業番号	市18	方針	1	実施期間	8月１４日・１５日（予定）
事業名	おびひろ平原まつり				
実施場所	西２条南７丁目～１１丁目、広小路、駅北多目的広場				
実施主体	帯広のまつり推進委員会（事務局：帯広市ほか）				
連絡先	観光交流課　TEL：0155-65-4169 メール：tourism@city.obihiro.hokkaido.jp				
事業内容	先人の開拓への報恩感謝と地域産業の五穀豊穣の願いを込め、様々な世代の人々が楽しめる、ふるさとのまつりです。まつりのメインイベントである「おびひろ盆おどり」や、各地から参加団体が集まり演奏する「平原・太鼓まつり」、五穀豊穣への願いを込めて御輿が練り歩く「夢降夜」など、様々な催しを行います。 公式ホームページ				

事業番号	市19	方針	1,3	実施期間	9月上旬
事業名	子ども王国				
実施場所	とかちプラザ（西４条南13丁目１）				
実施主体	帯広市教育委員会、帯広市青少年育成者連絡協議会				
連絡先	学校地域連携課　TEL：65-4162 メール：school_cooperation@city.obihiro.hokkaido.jp				
事業内容	とかちプラザにて実施される「プラザまつり」に、「子ども王国」としてブースを設けており、例年、バルーン体験やボッチャ・モルック体験、射的などのイベントを実施しています。 				

事業番号	市20	方針	1	実施期間	10月末～11月初旬（予定）
事業名	おびひろ菊まつり				
実施場所	とかちプラザ（西４条南13丁目１）				
実施主体	帯広のまつり推進委員会（事務局：帯広市ほか）				
連絡先	観光交流課　TEL：0155-65-4169 メール：tourism@city.obihiro.hokkaido.jp				
事業内容	菊に対する関心と愛情を深め芸術文化の高揚を図ることを目的に、色彩豊かな菊を鑑賞する秋のまつりです。丹精込めて制作された菊が会場を彩ります。 メインとなる総合花壇や、菊の作品展示「菊花展」のほか、アーティストによるステージイベントなど、様々な催しを行います。 公式ホームページ 				

事業番号	市21	方針	3	実施期間	11月上旬
事業名	中学生からのメッセージ				
実施場所	とかちプラザ（西４条南13丁目１）				
実施主体	帯広市教育委員会、帯広市教育研究会				
連絡先	学校地域連携課　TEL：65-4162 メール：school_cooperation@city.obihiro.hokkaido.jp				
事業内容	帯広市内の中学生が、学校生活、友達関係、社会のこと、夢や希望など、ひとりひとりが日頃感じている思いや考えを発表します。 詳しくは市ホームページをご確認ください。 帯広市ホームページ				

事業番号	市22	方針	1	実施期間	11月2日
事業名	フードバレーとかちマラソン大会				
実施場所	帯広市内				
実施主体	帯広市、フードバレーとかちマラソン実行委員会				
連絡先	フードバレーとかちマラソン実行委員会事務局（帯広市スポーツ課内） TEL：0155-65-4210　メール：fvmarathon@city.obihiro.hokkaido.jp				
事業内容	広大な畑の眺めや面前に広がる“日高山脈”の雄大さを感じられるマラソン大会となっています。全国的にも日照時間が長く、“とかち晴れ”と呼ばれるスッキリとした青空と秋の涼しさを感じながら走ることができ、全国各地から5,000名を超えるランナーに出場いただいています。 また、ゴール後には食料自給率が全国トップレベルである十勝の食材を存分に使った絶品料理を堪能できます。 年１回の市街地を走るマラソン大会に参加してみませんか？				

事業番号	市23	項目	1	実施期間	11月15日
事業名	とかち・市民「環境交流会 」2025				
実施場所	とかちプラザ（西４条南13丁目１）				
実施主体	帯広市				
連絡先	環境課　TEL：0155-65-4135 メール：environment@city.obihiro.hokkaido.jp				
事業内容	環境活動に対する認識を深め、幅広く多様な環境活動へ参加するためのきっかけづくりとなることを目的とし、展示、講演会等を行います。				

帯広市　商業労働課
TEL：0155-65-4164
FAX：0155-23-0172
mail：commerce@city.obihiro.hokkaido.jp

↓アクションリストに関する情報を市ホームページで発信中！